

**竹原市子育て支援に関するアンケート調査  
調査結果報告書概要版  
【第1期・第2期アンケート比較分析表】**

**平成31年4月  
竹原市**



## 目次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果（未就学児童）	2
1. 親族などからの支援の状況	2
2. 母親の現在の就労状況	2
3. 平日の定期的な教育・保育の利用状況	3
4. 今後、定期的にご利用したい教育・保育事業	4
5. 地域子育て支援センターの利用希望	5
6. 病児・病後児保育施設等の利用希望	5
7. 仕事と子育ての両立	6
8. 地域における子育ての環境や支援への満足度	6
9. 地域における子育ての環境への不満の理由	6
10. 子育ての悩み	7
11. 子育ての悩みの相談先	8
12. 子育ての環境や医療について	9
13. 子育ての環境や医療について不満の理由	9
14. 家族の近所づきあい	10
15. 地域の子どもたちとの交流や活動への参加	10
16. 地域の人たちは子育てを支えてくれているか	11
17. 子育てをするうえで地域に望むこと	11
18. 竹原市は子育てしやすいまちだと思うか	12
19. 竹原市で子育てや教育を受けさせ続けたいか	12
20. 竹原市の子育施策でよくなったと思う項目	13
21. 今後も重要だと思う項目	14
22. 世帯や経済状況	15
23. 自由意見	16
24. まとめ	17
III. 調査結果（就学児童）	18
1. 親族などからの支援の状況	18
2. 母親の現在の就労状況	18
3. 小学校の放課後、過ごさせている場所	19
4. 小学校の放課後、過ごさせたい場所	20
5. 1日当たりのテレビ・ゲーム・動画視聴時間	21
6. 携帯電話、タブレットなどの端末	22
7. 地域における子育て環境や支援への満足度	23
8. 不満の理由	23
9. 子育ての悩み	24

10. 子育ての環境や医療 .....	25
11. 家族の近所づきあい .....	26
12. 地域の子どもたちとの交流や活動 .....	26
13. 地域の人々は子育てを支えてくれているか .....	27
14. 子育てをするうえで地域に望むこと .....	27
15. 竹原市は子育てしやすいまちだと思うか .....	28
16. 竹原市で子育てや教育・保育を受けさせ続けたいか .....	29
17. 竹原市の子育て施策について .....	30
18. 世帯や経済状況 .....	32
19. 自由意見 .....	33
20. まとめ .....	35

# I. 調査の概要

## 1. 調査目的

本調査は、市内に居住する未就学児童及び就学児童の保護者を対象として、アンケート調査を実施し、「竹原市（第2期）子ども・子育て支援事業計画（2020年度～2024年度）」を策定するに当たり、市民の方の教育・保育・子育て支援に関する事業の利用状況や今後の利用希望等を把握するための基礎資料とします。

## 2. 調査対象

第1期 未就学児童（0～5歳 825人）  
就学児童（小学生 622人）

第2期 未就学児童（0～5歳 643人）  
就学児童（小学生 770人）

## 3. 調査時期

第1期 平成25年10月

第2期 平成31年2月

## 4. 調査方法

第1期 郵送による配布回収及びインターネット調査

第2期 郵送による配布回収

## 5. 回収結果

第1期	配布数	有効回答数	有効回答率
未就学児童	825	369	44.7%
就学児童	622	266	42.8%
第2期	配布数	有効回答数	有効回答率
未就学児童	643	262	40.7%
就学児童	770	342	44.4%

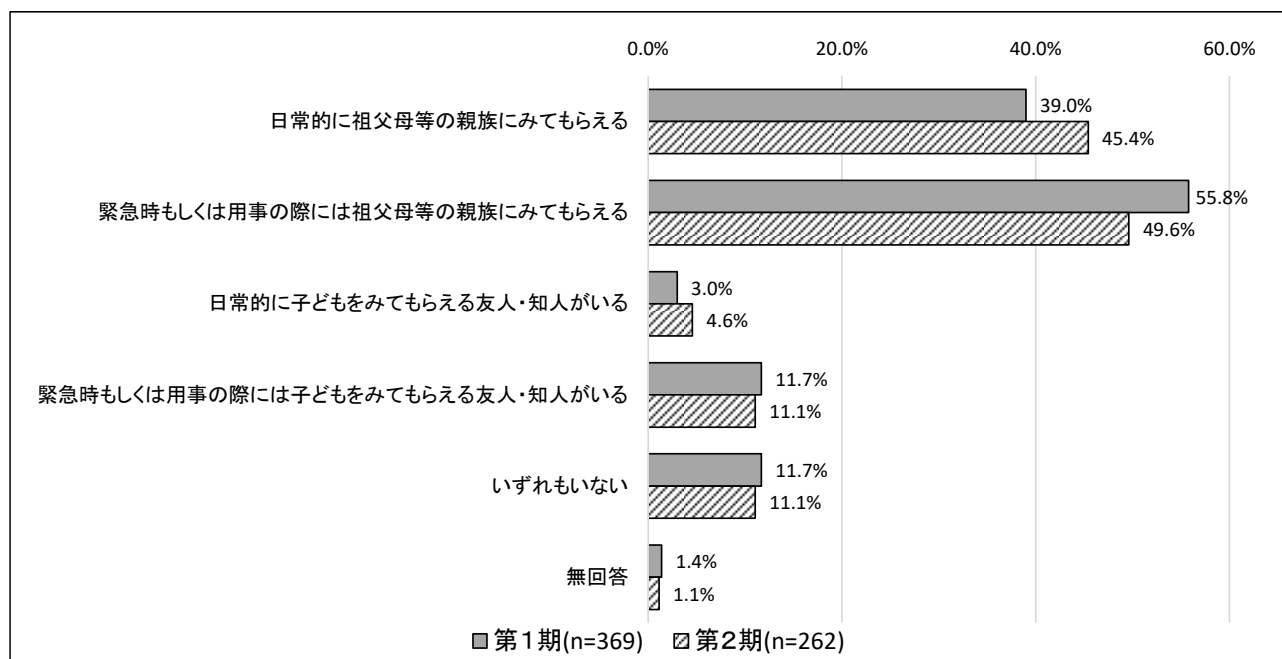
## 6. 数値等の基本的な取扱いについて

- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、したがって、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は作図等の都合により一部簡略化する場合があります。

## Ⅱ. 調査結果（未就学児童）

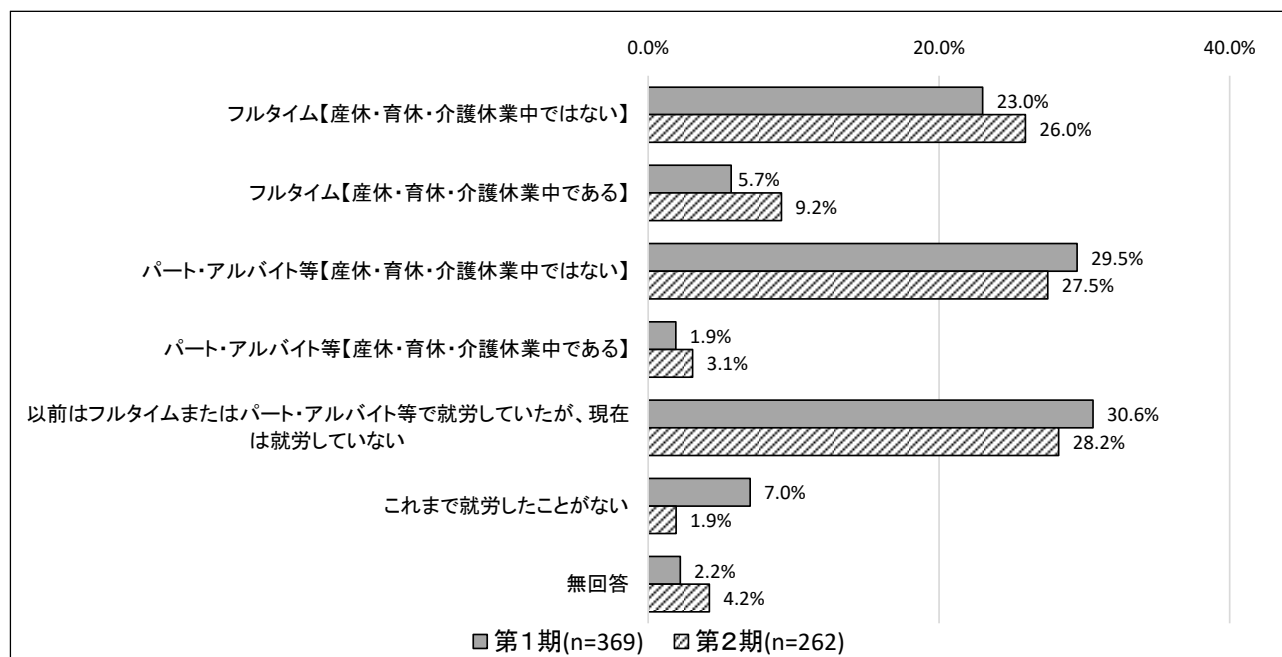
### 1. 親族などからの支援の状況

第1期と比較すると「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が高くなっている一方、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が低くなっています。



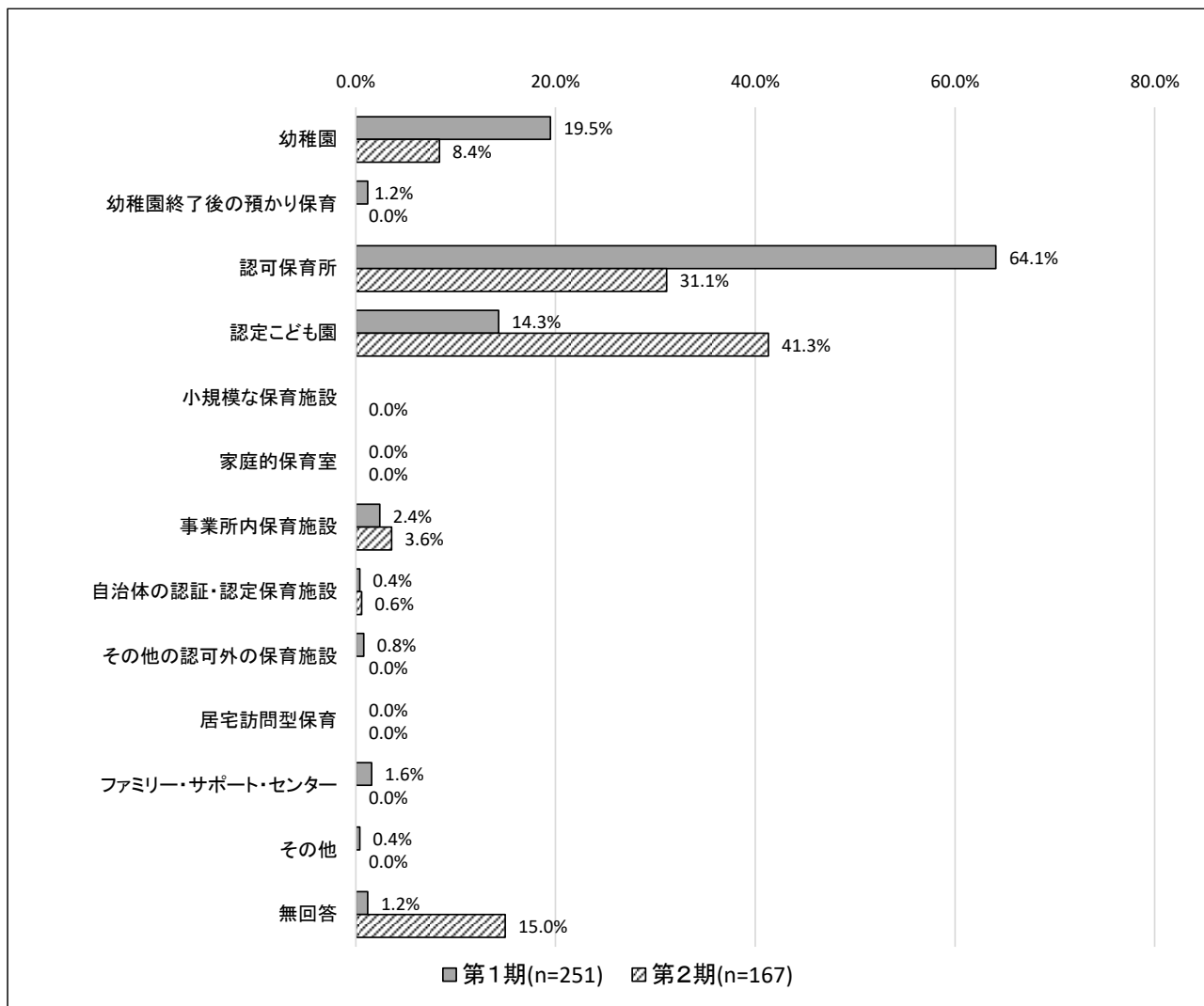
### 2. 母親の現在の就労状況

フルタイム・パートをあわせた“働いている”でみると、第1期の割合が60.1%、第2期の割合が65.8%となっており、第1期よりも母親の“働いている”割合が高くなっています。



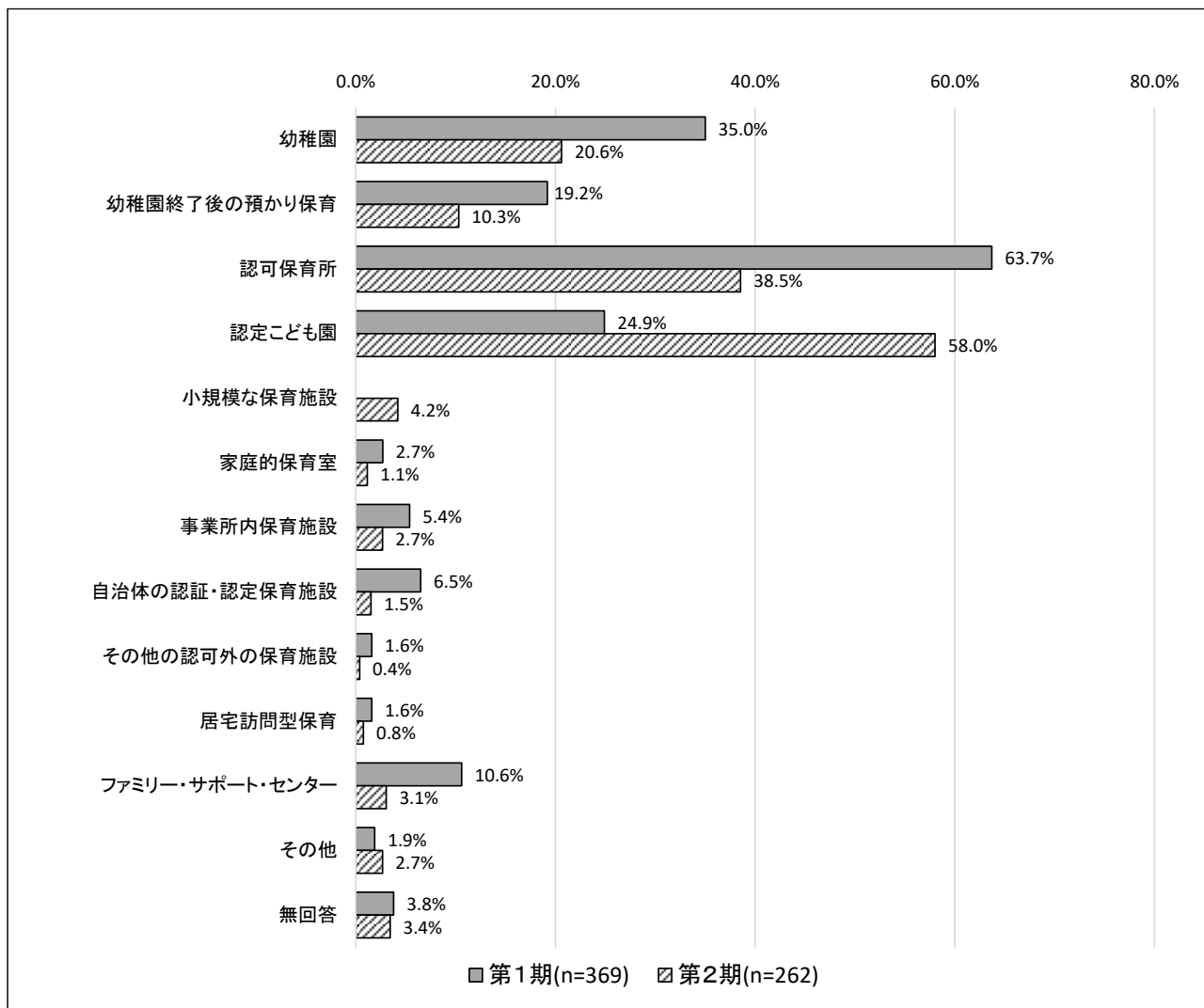
### 3. 平日の定期的な教育・保育の利用状況

第1期と比較すると「認定こども園」の割合が高くなっている一方、「幼稚園」「認可保育所」の割合が低くなっています。



#### 4. 今後、定期的に利用したい教育・保育事業

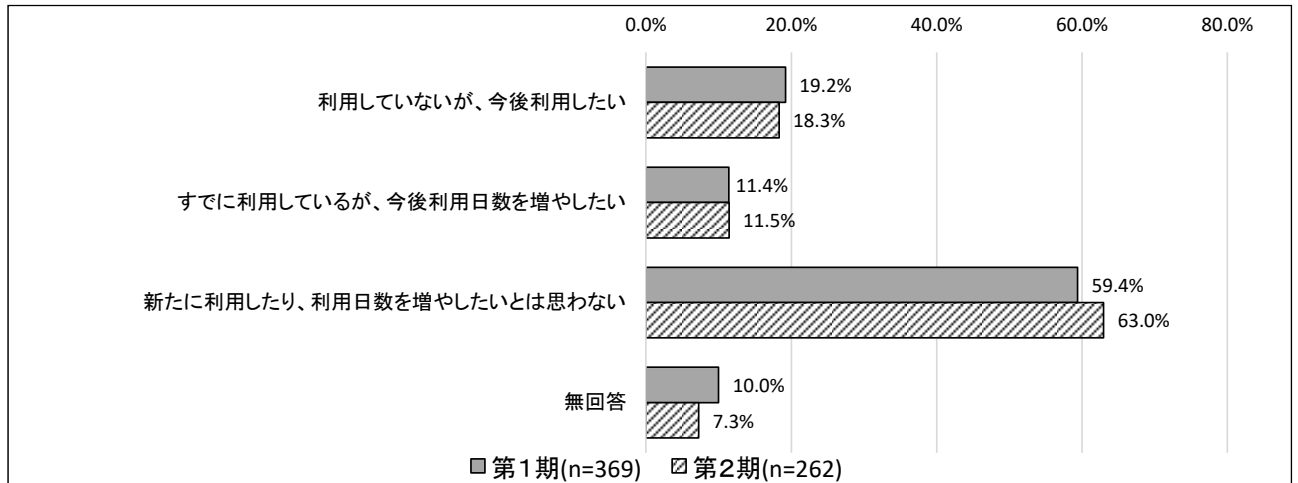
第1期と比較すると「認定こども園」の割合が大きく増加しています。第2期では『今後、無償化（または上限ありの補助）となる見込みですが、そのような場合、今後、定期的にご利用したい教育・保育事業は何か』というように無償化に対応した質問となっており、このことが「認定こども園」の大幅な割合増加の一因とも考えられます。





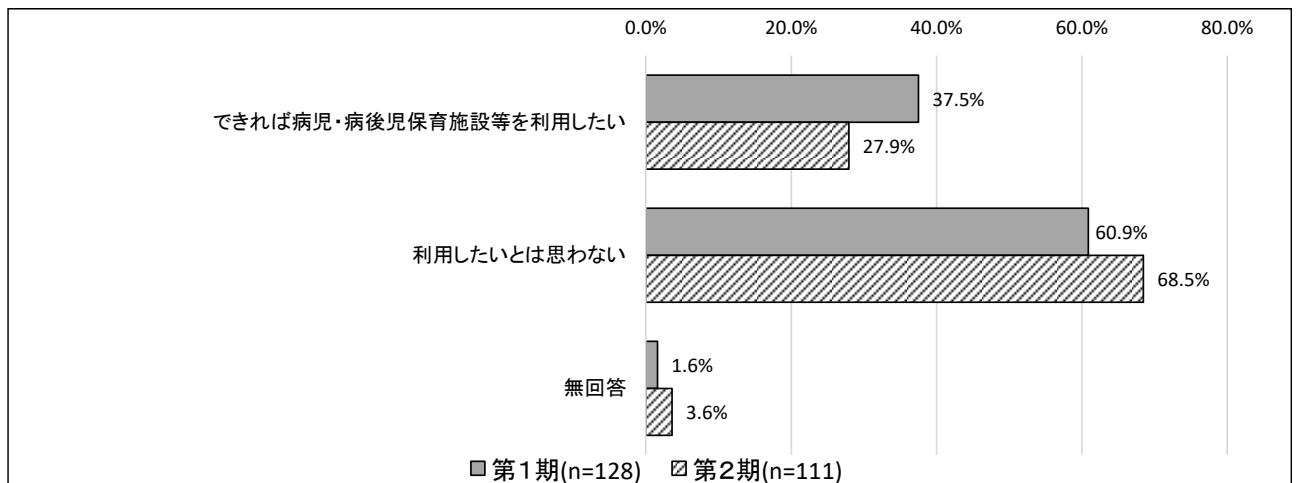
## 5. 地域子育て支援センターの利用希望

第1期と比較すると「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合がやや高くなっています。



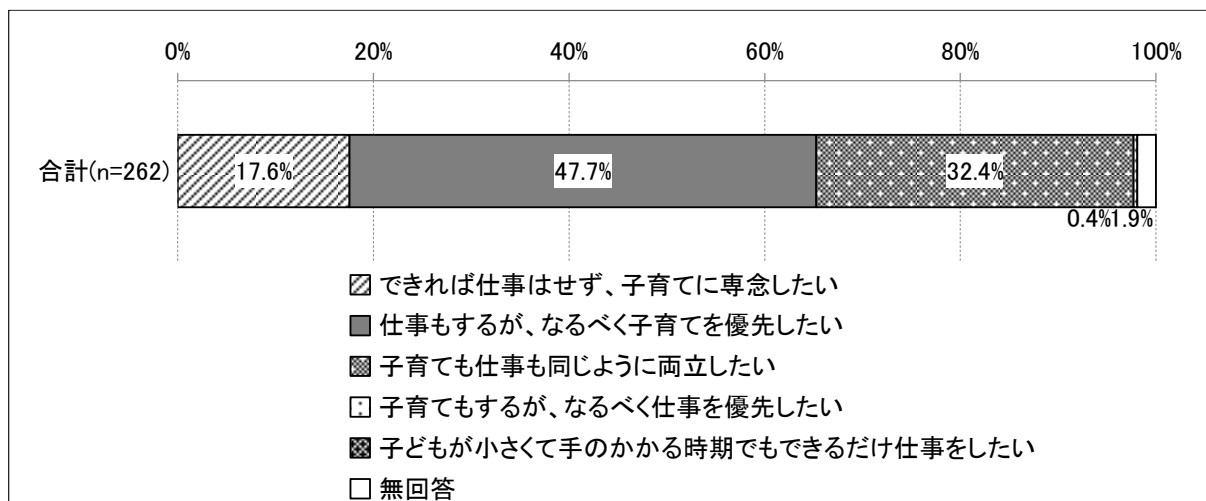
## 6. 病児・病後児保育施設等の利用希望

第1期と比較すると「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が低くなっています。



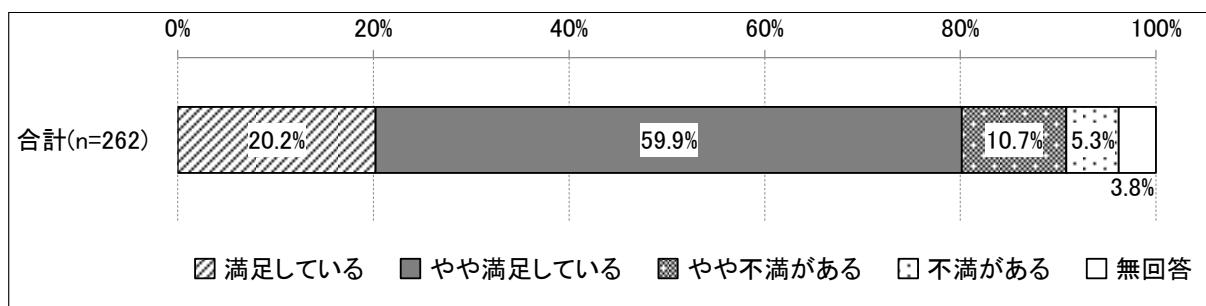
## 7. 仕事と子育ての両立

「仕事もするが、なるべく子育てを優先したい」の割合が47.7%と最も高く、次いで「子育ても仕事も同じように両立したい」の割合が32.4%、「できれば仕事はせず、子育てに専念したい」の割合が17.6%となっています。



## 8. 地域における子育ての環境や支援への満足度

「やや満足している」の割合が59.9%と最も高く、次いで「満足している」の割合が20.2%、「やや不満がある」の割合が10.7%となっています。



## 9. 地域における子育ての環境への不満の理由

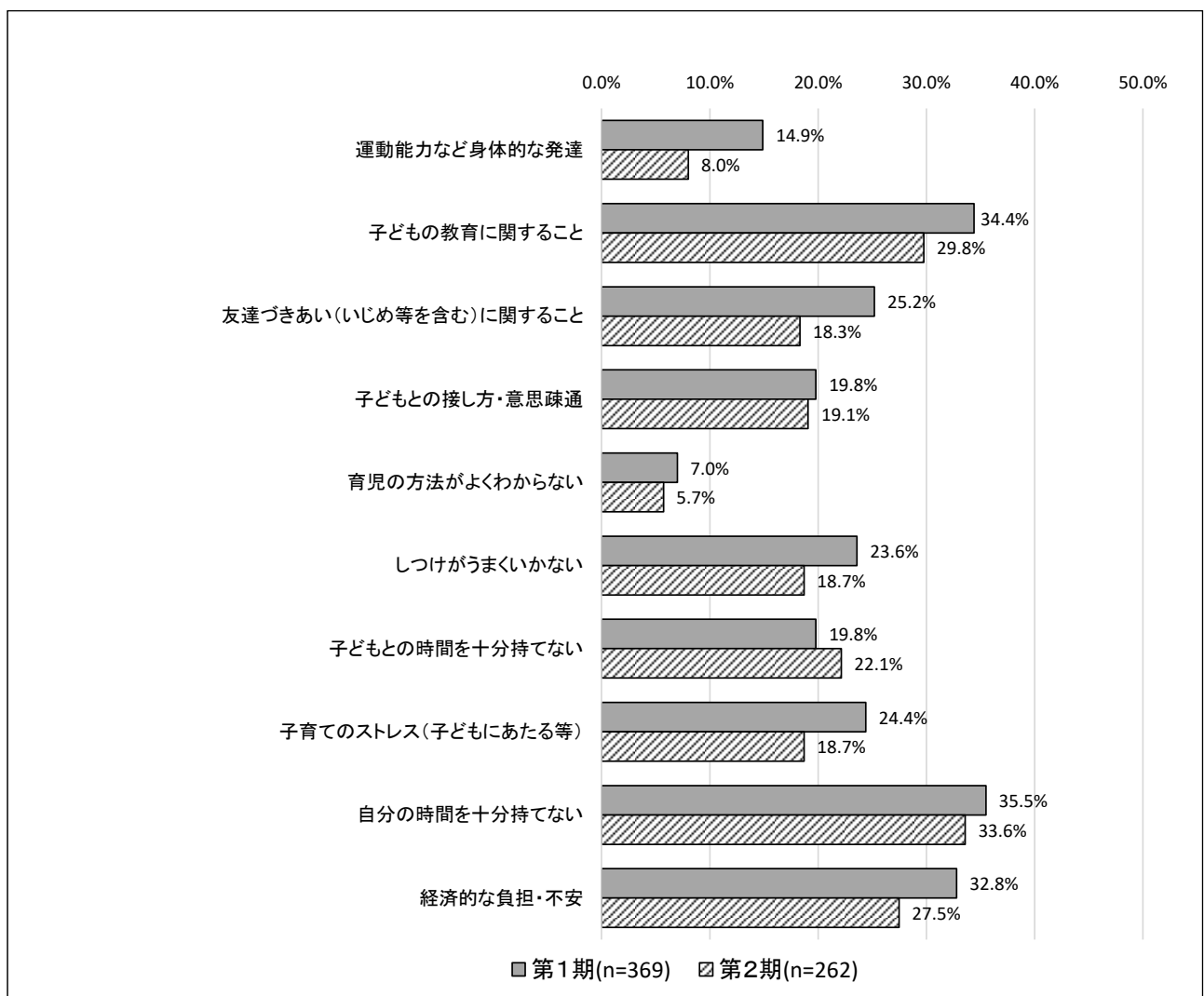
【意見抜粋】

宛名のお子さんの年齢	不満の理由
0歳	保育園の預かり時間を7時からにしてほしい。
0歳	1週間程度休まなければならない時、簡単な手続で預かってくれる施設がほしい。
1歳	施設が近辺にはなく、市街地に出なくてはいけないので送迎に時間を取られる。
1歳	小児科が少ない、病院などの待ち時間が長すぎる。
2歳	現移転で無職の場合、就労希望があっても預け先が見つからないこと、新たな就労への妨げになっていること。

宛名のお子さんの年齢	
2歳	急用、急病の時に預けられる所はあるが、すぐに利用ができない。手続方法を検討すべきです。
3歳	子育ての前に子どもを産める環境をつくること。
3歳	急な預かりが発生した場合、状況を考えて判断してくれない（断られる）。
4歳	夜間の病院の対応、小児科の先生がいない（夜間、緊急時に不安）。
4歳	利用料、どこにどのような施設があるのかわからない。
5歳	保育料が高い、市のサービスはフルタイムで働いていると利用できないのが不満。

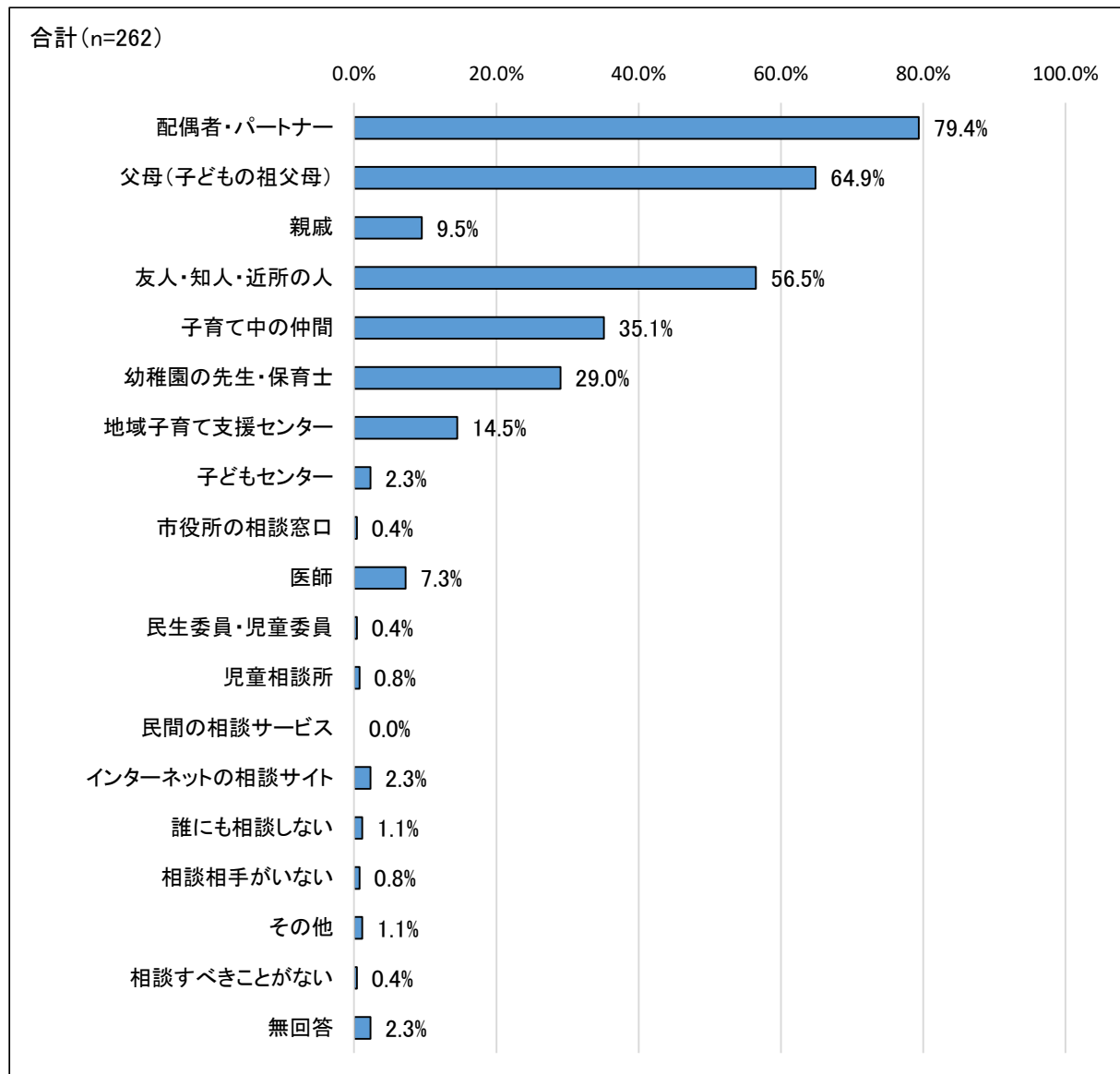
## 10. 子育ての悩み

第1期と比較するとほとんどの項目で割合が低くなっており、全般的に子育ての悩みが減少していることがみてとれます。第1期と比較して割合が高くなっているのは、「子どもとの時間を十分持てない」となっています。



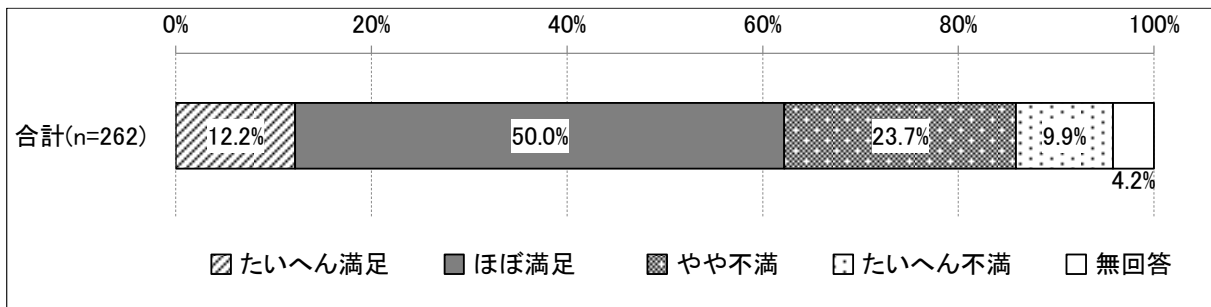
## 11. 子育ての悩みの相談先

「配偶者・パートナー」の割合が79.4%と最も高く、次いで「父母（子どもの祖父母）」の割合が64.9%、「友人・知人・近所の人」の割合が56.5%となっています。



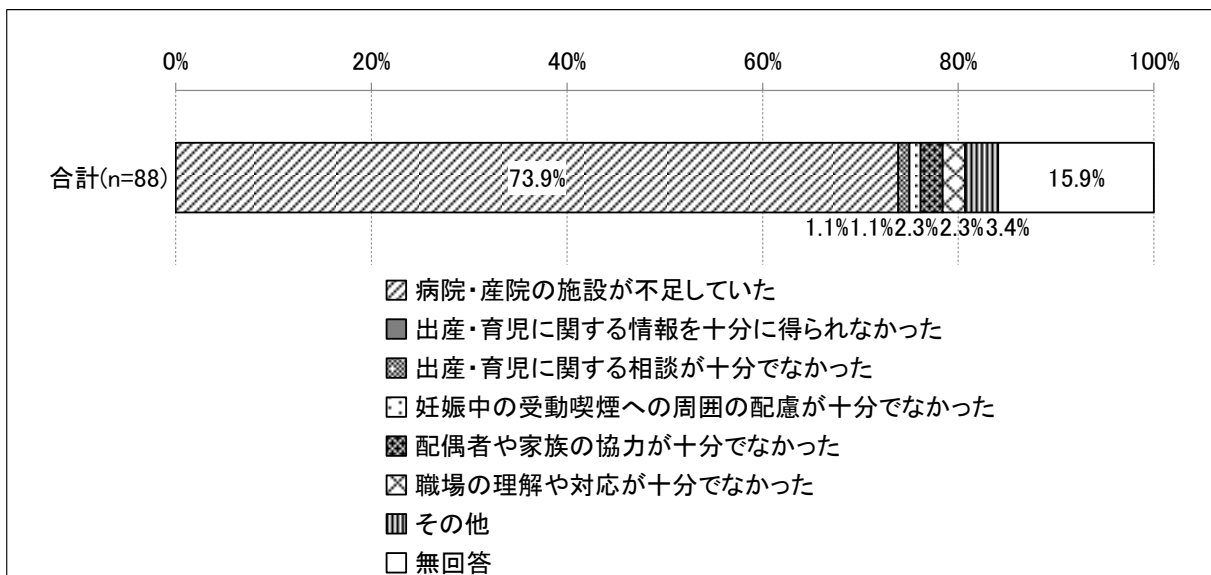
## 12. 子育ての環境や医療について

「ほぼ満足」の割合が50.0%と最も高く、次いで「やや不満」の割合が23.7%、「たいへん満足」の割合が12.2%となっています。



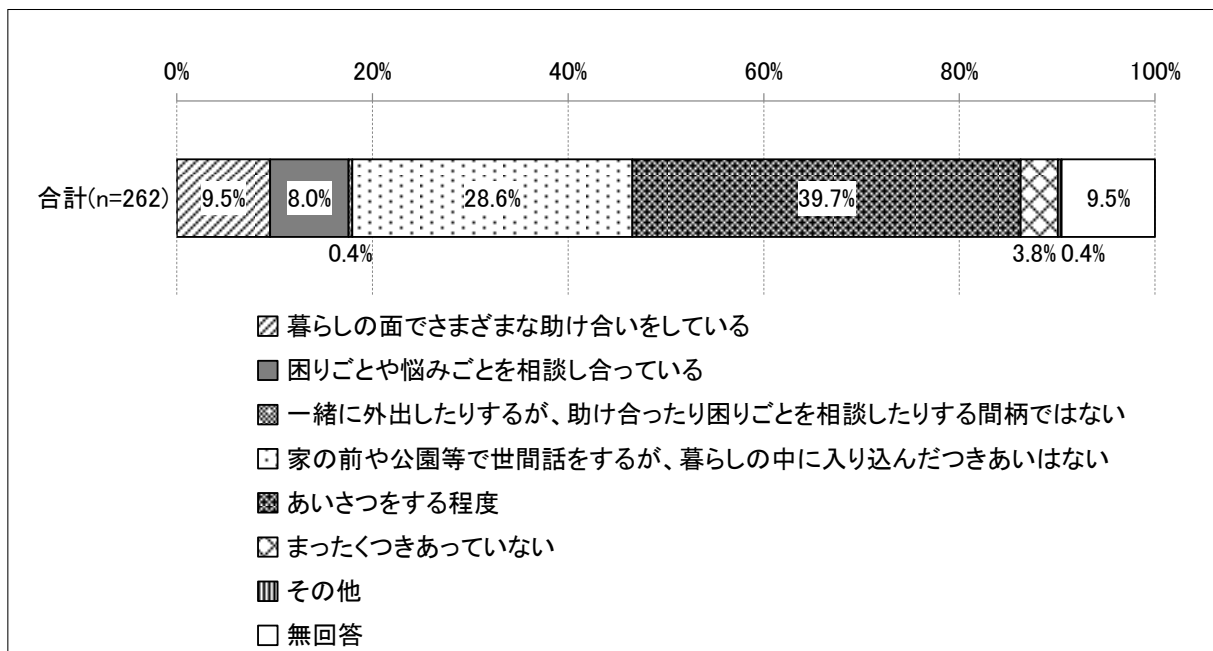
## 13. 子育ての環境や医療について不満の理由

「病院・産院の施設が不足していた」の割合が73.9%と最も高くなっています。



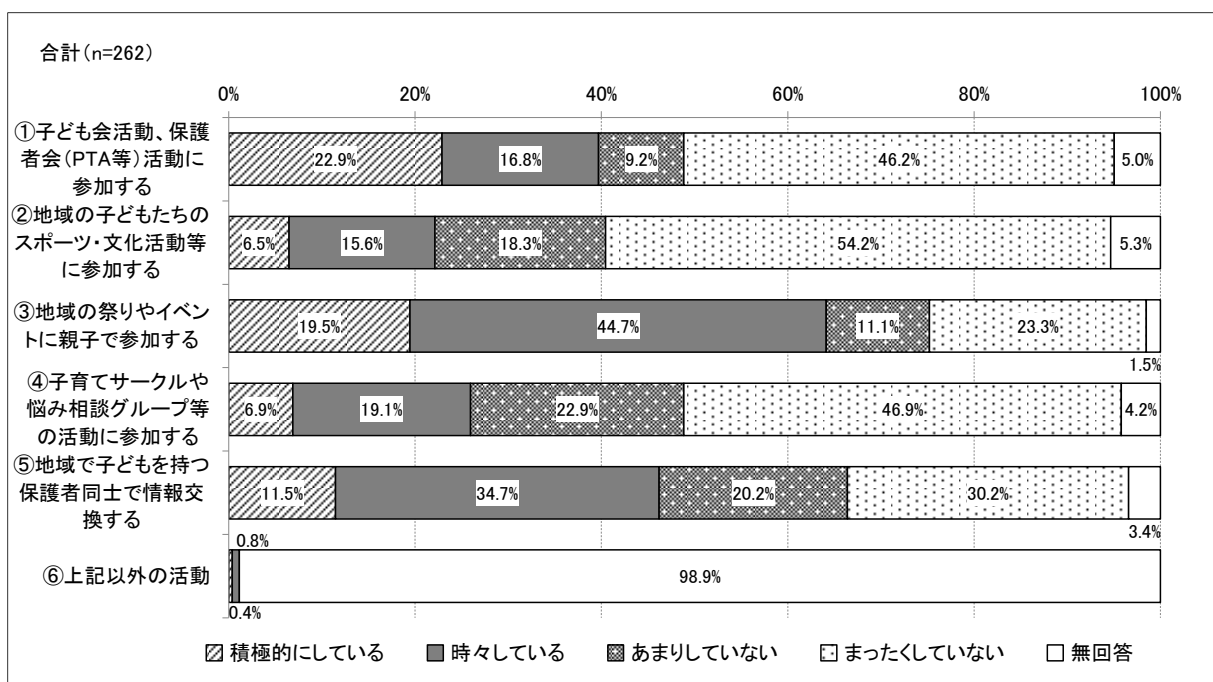
## 14. 家族の近所づきあい

「あいさつをする程度」の割合が39.7%と最も高く、次いで「家の前や公園等で世間話をするが、暮らしの中に入り込んだつきあいはない」の割合が28.6%となっています。



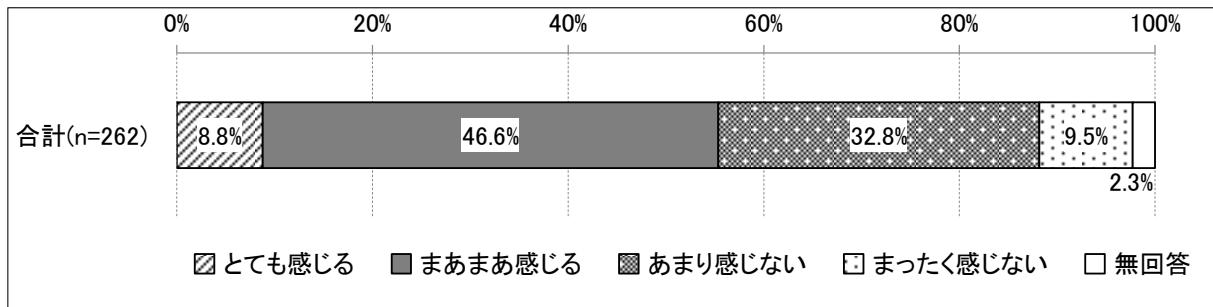
## 15. 地域の子どもたちとの交流や活動への参加

「①子ども会活動、保護者会（PTA等）活動に参加する」で「積極的にしている」の割合が高く、「③地域の祭りやイベントに親子で参加する」で「時々している」の割合が高くなっています。



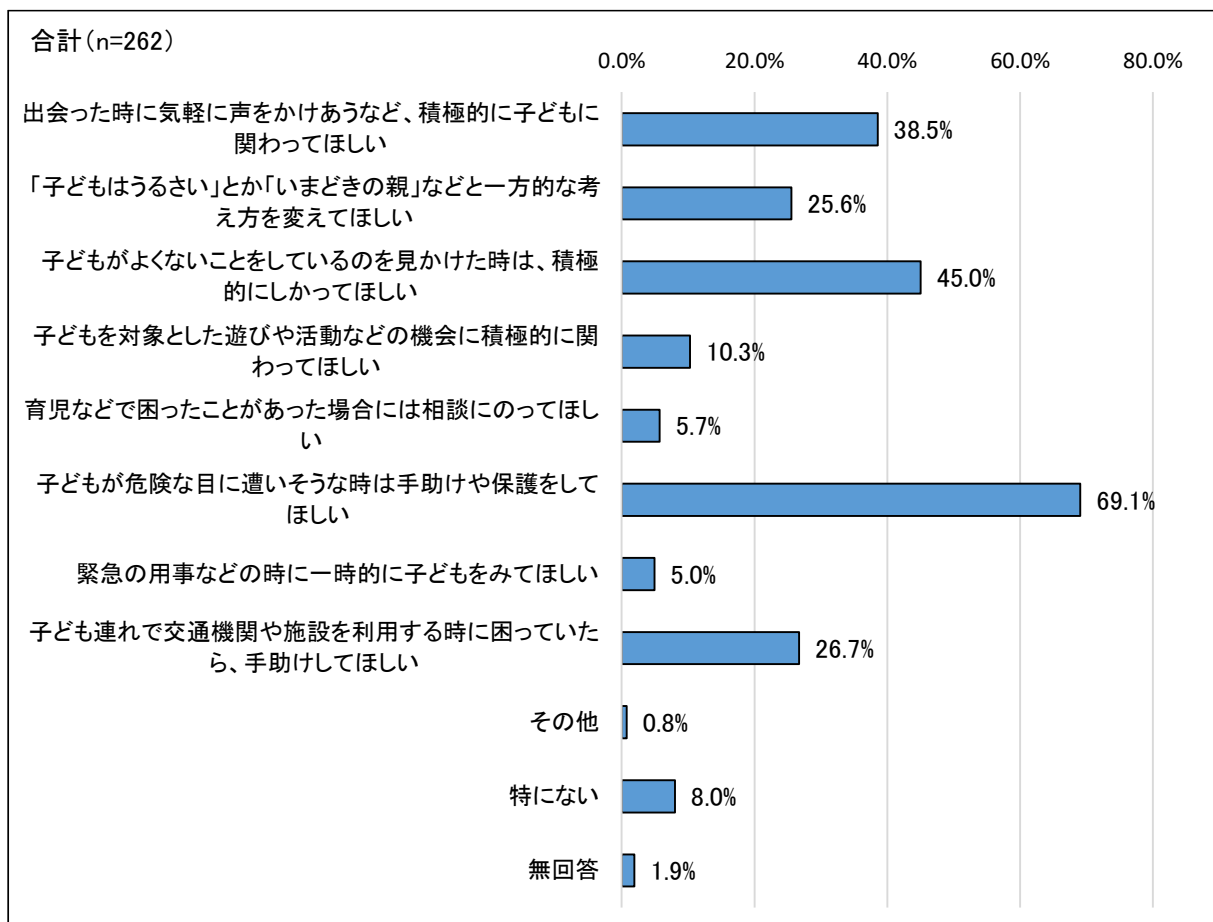
## 16. 地域の人たちは子育てを支えてくれているか

「まあまあ感じる」の割合が46.6%と最も高く、次いで「あまり感じない」の割合が32.8%となっています。



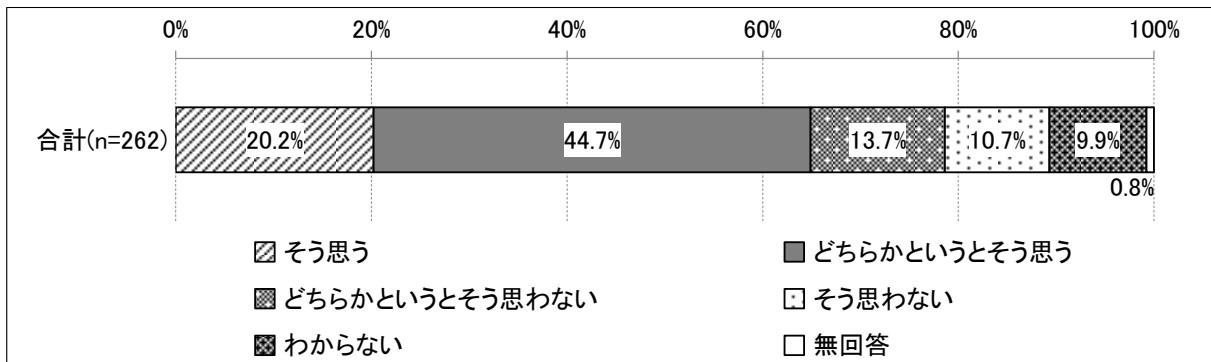
## 17. 子育てをするうえで地域に望むこと

「子どもが危険な目に遭いそうな時は手助けや保護をしてほしい」の割合が69.1%と最も高く、次いで「子どもがよくないことをしているのを見かけた時は、積極的にしかってほしい」の割合が45.0%、「出会った時に気軽に声をかけあうなど、積極的に子どもに関わってほしい」の割合が38.5%となっています。



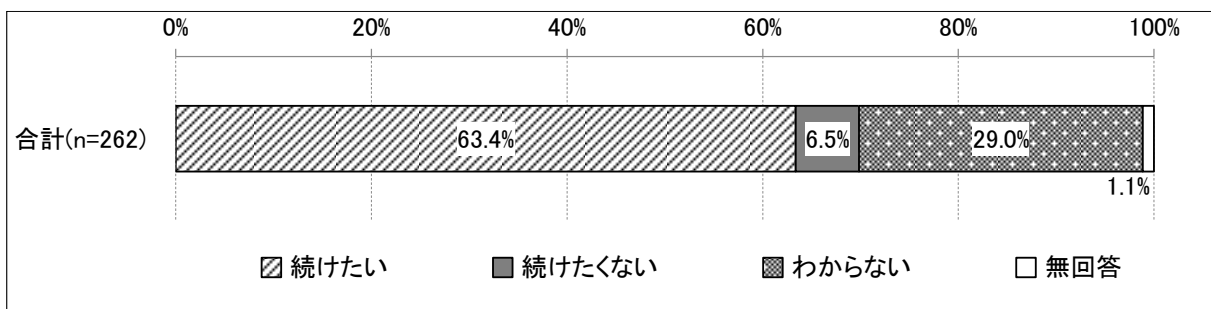
### 18. 竹原市は子育てしやすいまちだと思うか

「どちらかというと思う」の割合が44.7%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が20.2%、「どちらかというと思わない」の割合が13.7%となっています。



### 19. 竹原市で子育てや教育を受けさせ続けたいか

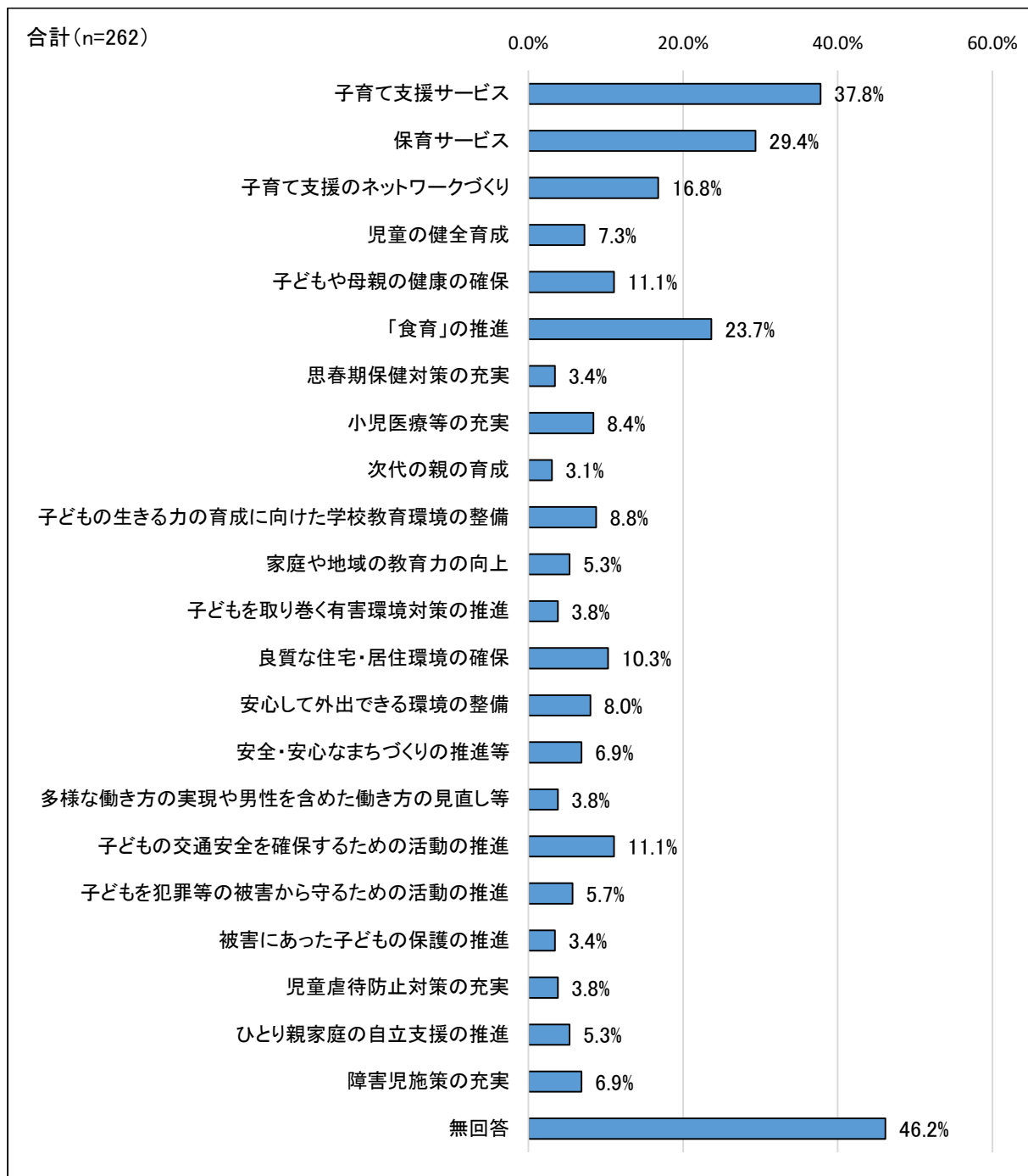
「続けたい」の割合が63.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が29.0%となっています。





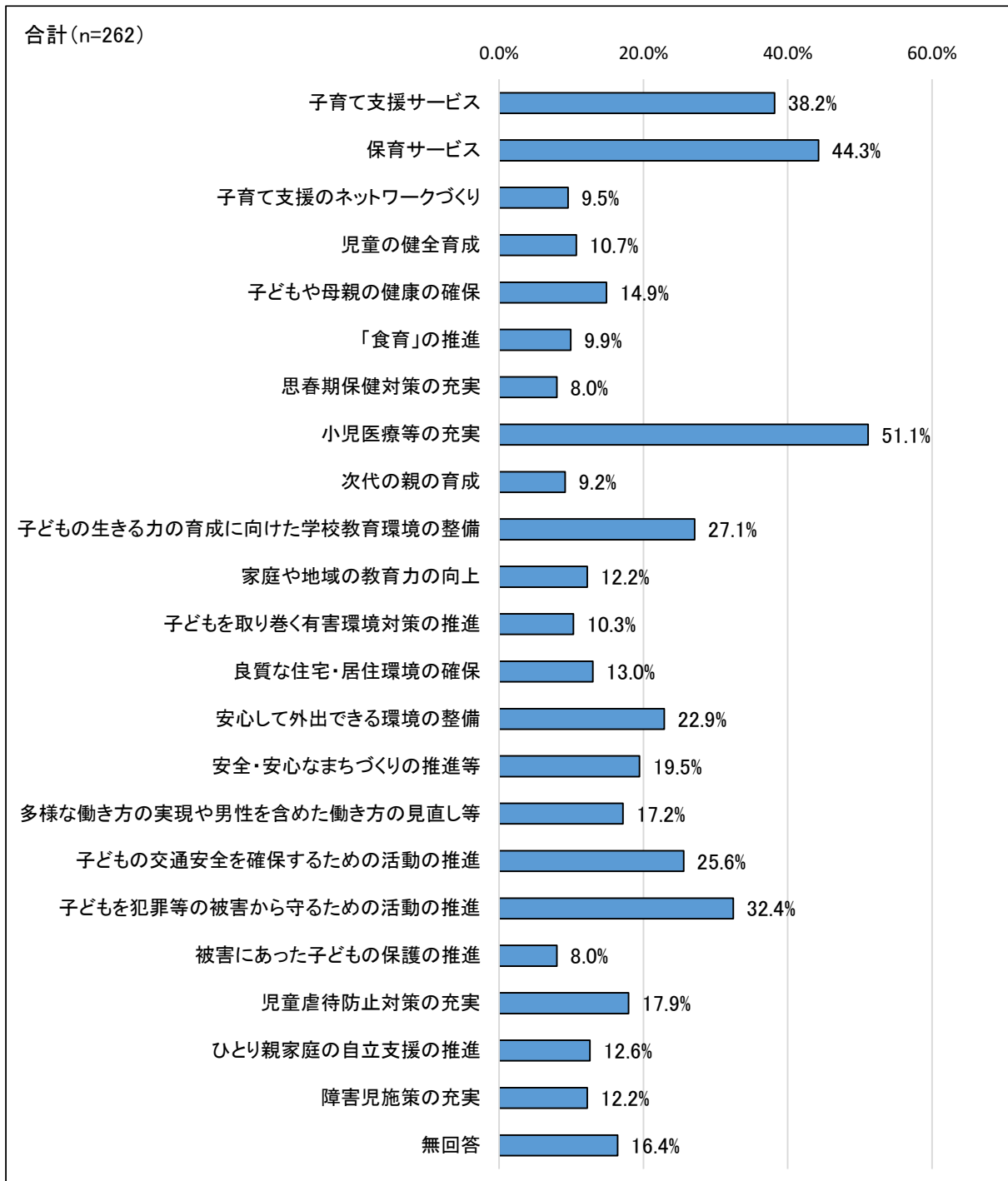
## 20. 竹原市の子育て施策でよくなったと思う項目

「子育て支援サービス」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「保育サービス」の割合が 29.4%、「食育」の推進」の割合が 23.7%となっています。



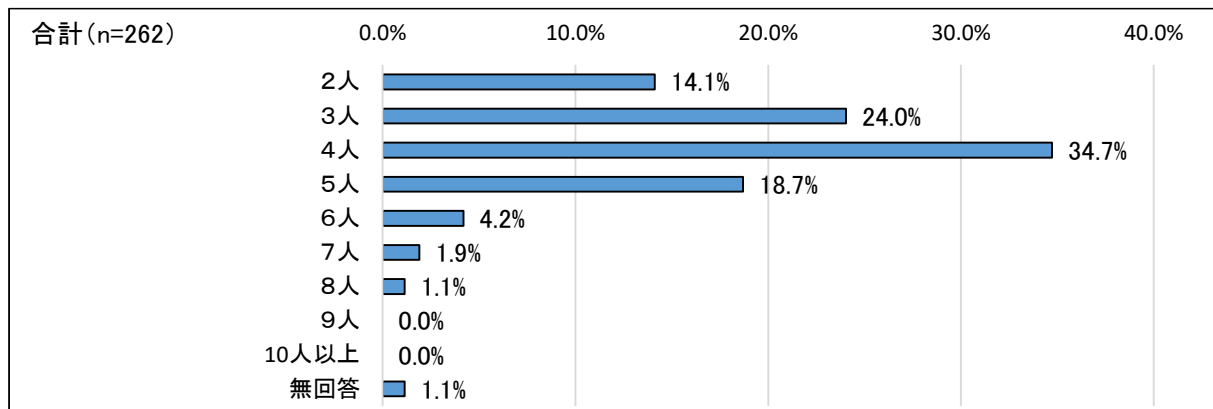
## 21. 今後も重要だと思う項目

「小児医療等の充実」の割合が51.1%と最も高く、次いで「保育サービス」の割合が44.3%、「子育て支援サービス」の割合が38.2%となっています。

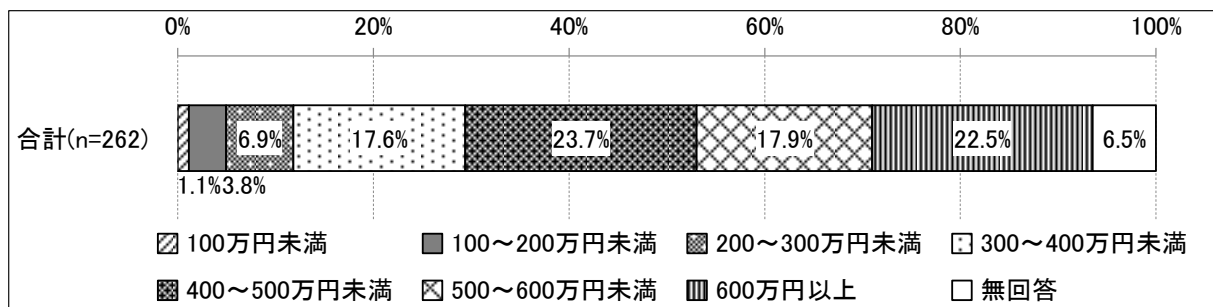


## 22. 世帯や経済状況

「4人」の割合が34.7%と最も高く、次いで「3人」の割合が24.0%、「5人」の割合が18.7%となっています。



家庭の収入は、「400～500万円未満」の割合が23.7%と最も高く、次いで「600万円以上」の割合が22.5%、「500～600万円未満」の割合が17.9%となっています。



## 23. 自由意見

### 【意見抜粋】

宛名のお子さんの年齢	意見
0歳	できれば夜間に行ける病院が1か所でもあればよい。
0歳	子どもがもう少し大きくなったら、いろいろと経験させてあげたいと思っています。
0歳	竹原市外に勤務のため、保育園の一時預かりを増やして頂けると、すごく助かります。
1歳	少子化でクラスの人数が少なくなることを心配しています。子どものいる世帯を積極的に受け入れて成功している地域の例を参考にして、竹原市も周囲の自治体に宣伝をして児童数を増やす努力をしてほしいです。
1歳	産科が竹原市内にほしい。1人目は何とか三原市か東広島まで通院できるが、2人目、3人目はきつい。竹原市内にあれば、2人目、3人目を考えると人も増えると思う。
2歳	きょうだいが入園している場合、下の子ども同じ園に入れるような工夫をお願いします。2か所への送迎はすごくたいへんです。行事（運動会、発表会、参観日など）も2か所分行かなければならないのはつらいです。その分仕事も休まなければなりません。ぜひ、配慮をお願いします。
2歳	高齢化の地域で財源が難しいと思います。子どもたちの輝く未来のため、最善を尽くし、より素敵な地域を期待しておりますので、よろしくをお願いします。
3歳	医療費の補助（無料化）をすべての子どもにしてほしい。
3歳	一時預かりをしている所があるのを知らなかったもので、分かりやすくHPにのせてほしい。（手順や、料金の説明）HPは一度見ましたが、説明が不足していると思いました。
4歳	幼稚園、保育所など希望するところに入れるようにしてほしい。きょうだいが増えることのないように。
4歳	乳幼児の医療費助成を中学校卒業まで広げてほしい。
4歳	預かる先がない人に対して、もう少し充実してほしい。急な用事の時、本当に困ります。
5歳	休日診療でも常に小児科の対応をしてほしい。担当医によっては、子どもはみてもらえなかったことがあり、三原まで行ったりと時間がかかった。
5歳	子育て支援は必要だと思うが、子どもの世話をしない、常に自分中心の親が増えていると思う。支援して親の負担は減り、子どもの負担が増えていると思う。
5歳	医療機関の充実を早急に対応していただきたい。婦人科、小児科、産科を増やしてほしい。
5歳	人口が増えるような施策を行ってほしい。このままでは子ども世代は竹原を出て都会に行ってしまうと思う。

## 24. まとめ

【問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方】

「父母ともに」の割合が53.8%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が42.4%と高くなっている。

【問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境】

「家庭」の割合が92.4%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が27.5%、「保育所」の割合が23.7%と続いており、「家庭」に対する子育てへの役割は重要と感じられている。

【問14-1 平日どのような教育・保育の事業を利用しているか】

「認定こども園」の割合が41.3%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が31.1%となっている。

年齢別で見ると、1～3歳で「認可保育所」の割合が高く、特に2歳では5割を超えている。また、0歳では「認定こども園」の割合が高い。

【問15 保育料に係わる費用が今後、無償化（または上限ありの補助）になった際、平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業】

「認定こども園」の割合が58.0%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が38.5%、「幼稚園」の割合が20.6%となっている。

年齢別で見ると、0歳～2歳、4歳～5歳では「認定こども園」の割合が高く、3歳では「認可保育所」の割合が高くなっている。特に0歳、2歳、4歳では6割を超えている。

母親の就労状況別で見ると、すべての就労状況別で「認定こども園」の割合が高い。

【問26 宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得したか】

母親については「取得した（取得中である）」の割合が40.8%と高いが、父親については「取得していない」の割合が83.6%と最も高く、ほとんどの父親は育児休業を取得していない。

【問43 ①最近5年間で「よくなったと思う」項目、②「今後も特に重要だと思う」項目について】

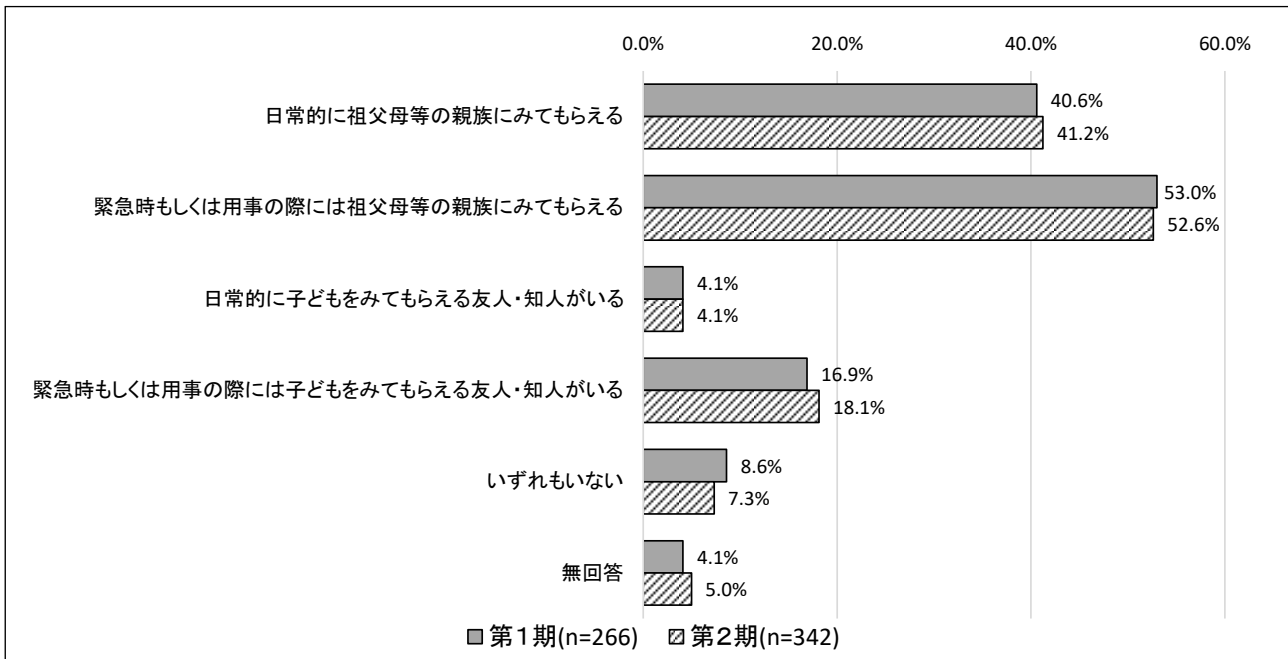
①よくなったと思う項目では、「子育て支援サービス」の割合が37.8%と最も高く、次いで「保育サービス」の割合が29.4%、「食育」の推進の割合が23.7%となっている。

②今後も特に重要だと思う項目では、「小児医療等の充実」の割合が51.1%と最も高く、次いで「保育サービス」の割合が44.3%、「子育て支援サービス」の割合が38.2%となっている。

### Ⅲ. 調査結果（就学児童）

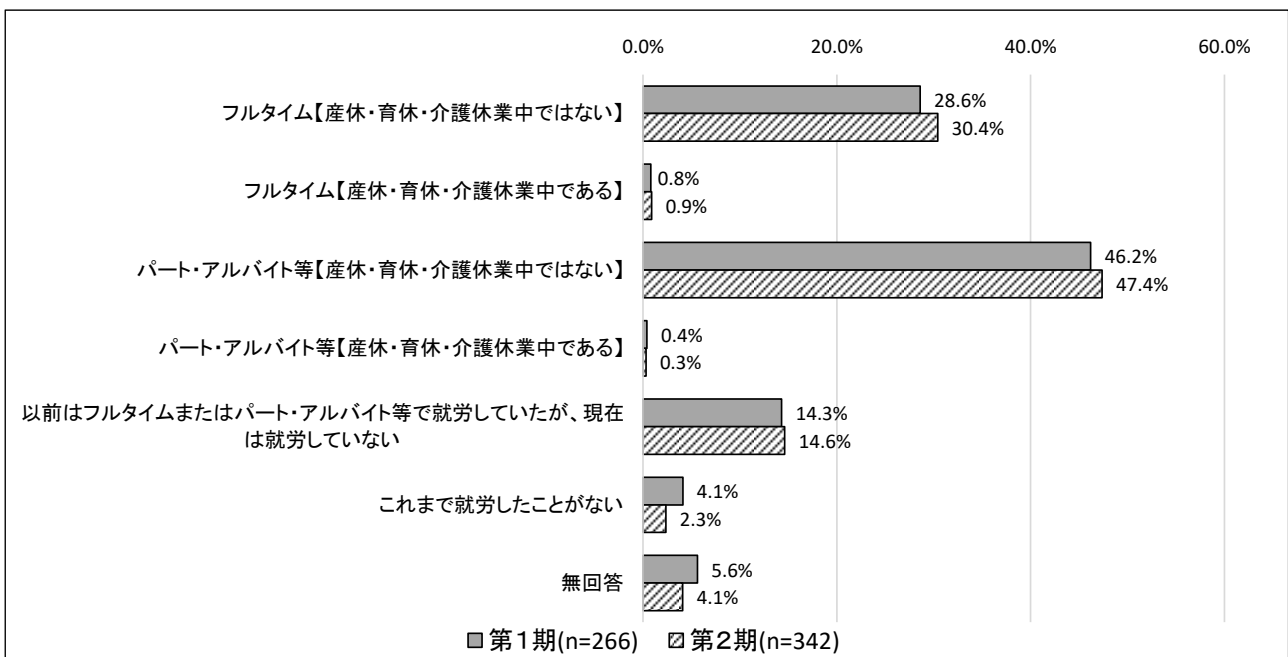
#### 1. 親族などからの支援の状況

第1期と比較するとほとんど変わらない状況となっていますが、第1期、第2期ともに「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が高くなっています。



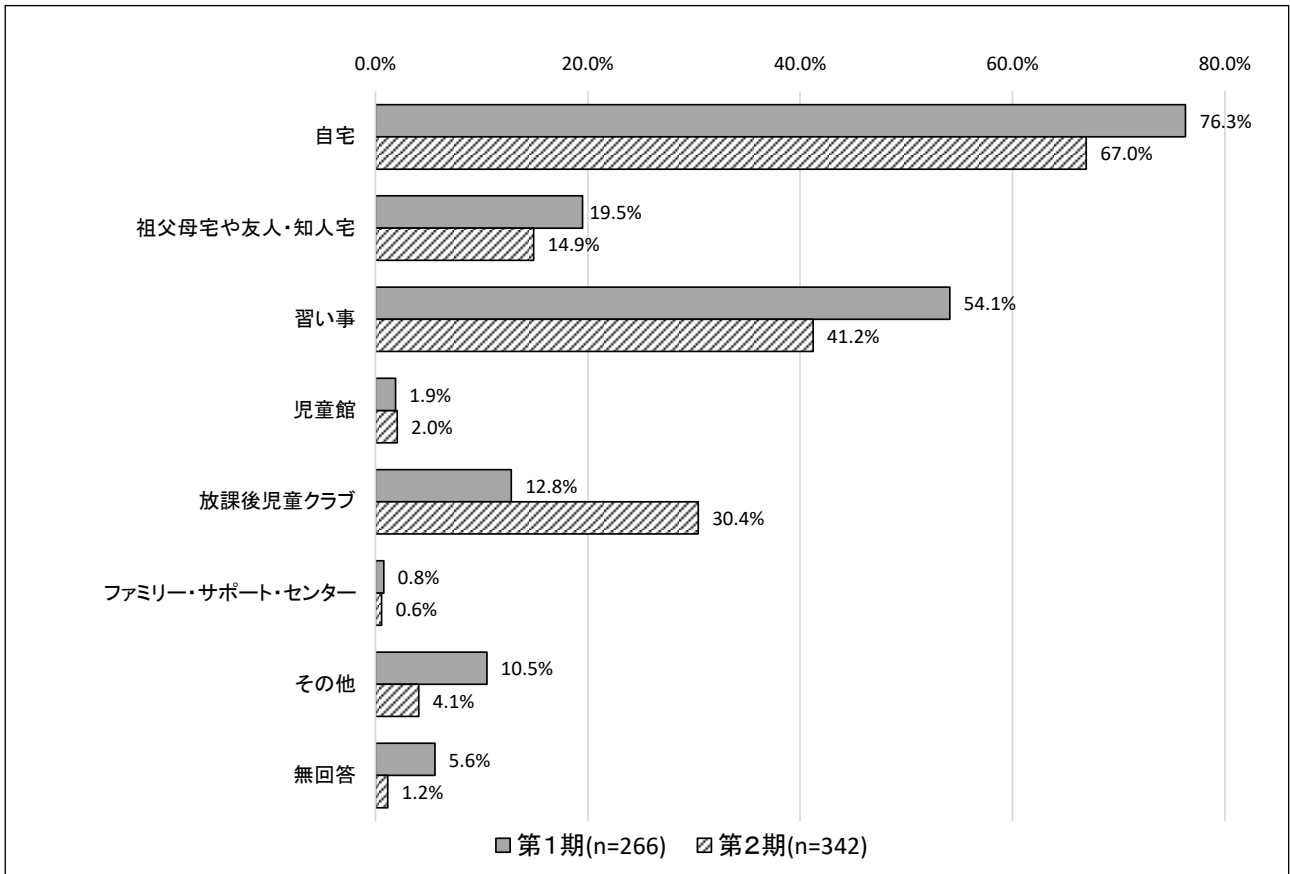
#### 2. 母親の現在の就労状況

フルタイム・パートをあわせた“働いている”でみると、第1期の割合が76.0%、第2期の割合が79.0%となっており、第1期よりも母親の“働いている”割合が高くなっています。



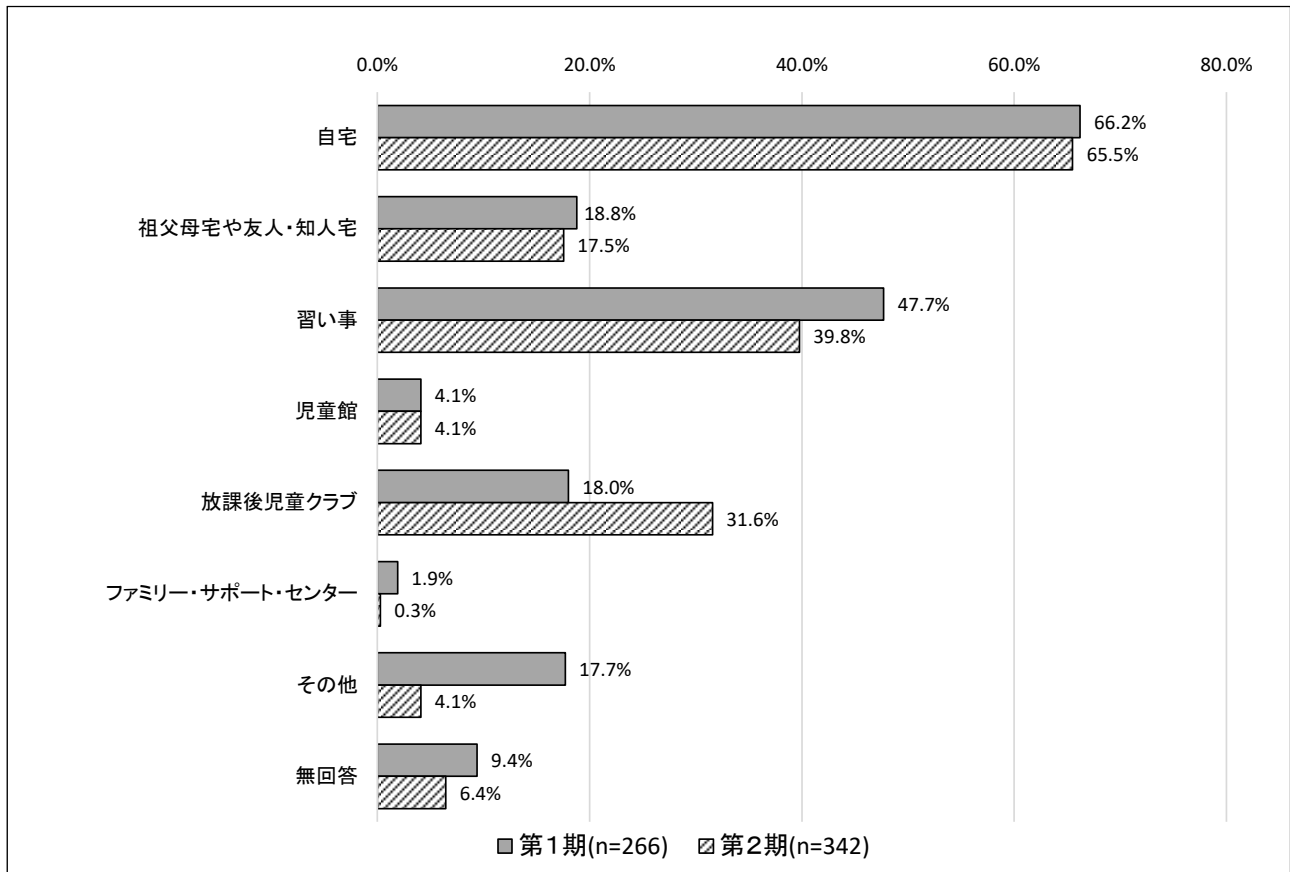
### 3. 小学校の放課後、過ごさせている場所

第1期と比較すると「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」の割合が低くなっている一方、「放課後児童クラブ」の割合が高くなっています。



#### 4. 小学校の放課後、過ごさせたい場所

第1期と比較すると「習い事」の割合が低くなっている一方、「放課後児童クラブ」の割合が高くなっています。

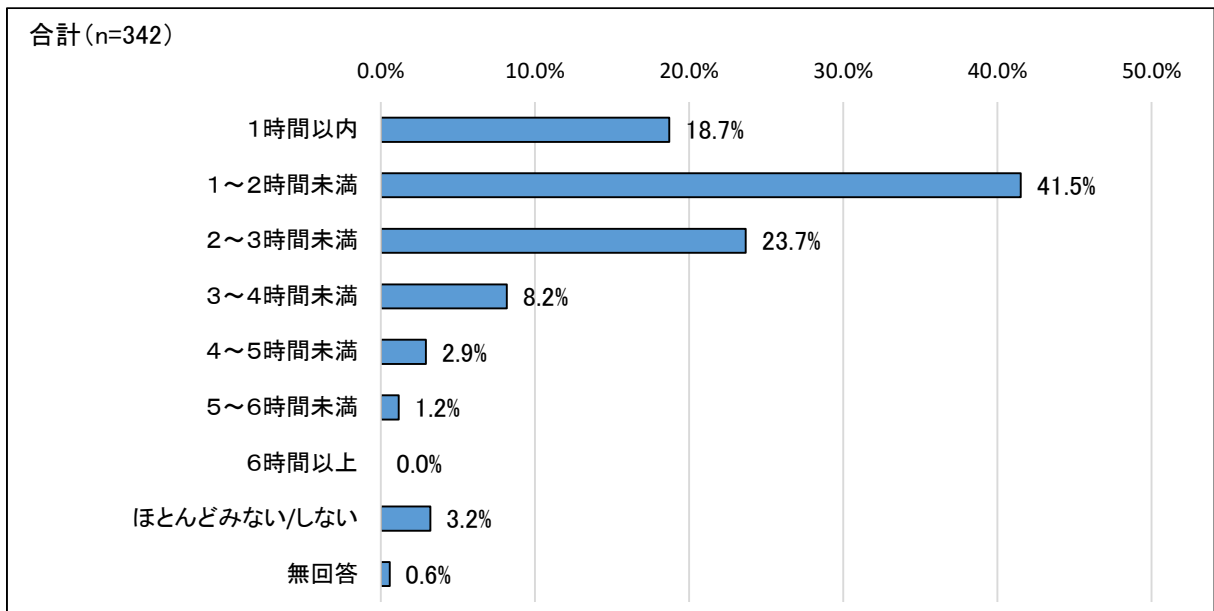




## 5. 1日当たりのテレビ・ゲーム・動画視聴時間

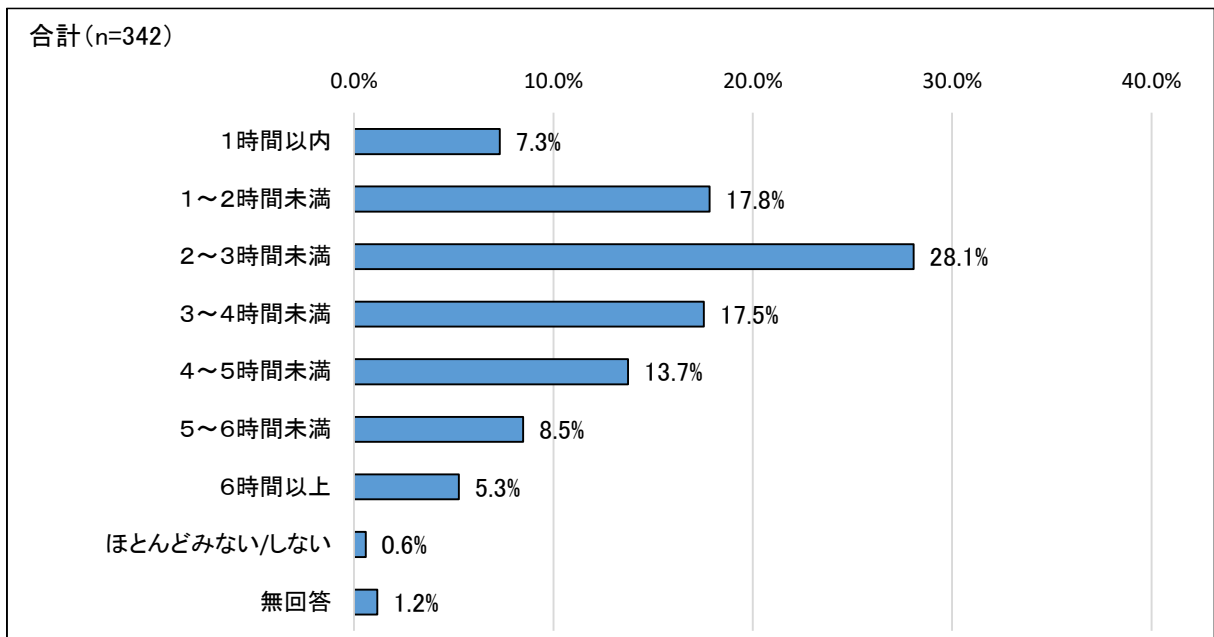
### ①平日

「1～2時間未満」の割合が41.5%と最も高く、次いで「2～3時間未満」の割合が23.7%、「1時間以内」の割合が18.7%となっています。



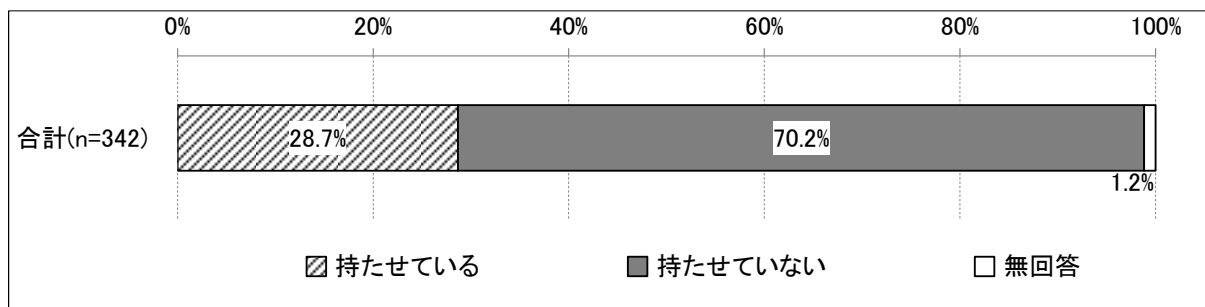
### ②休日

「2～3時間未満」の割合が28.1%と最も高く、次いで「1～2時間未満」の割合が17.8%、「3～4時間未満」の割合が17.5%となっています。



## 6. 携帯電話、タブレットなどの端末

「持たせていない」の割合が70.2%、「持たせている」の割合が28.7%となっています。

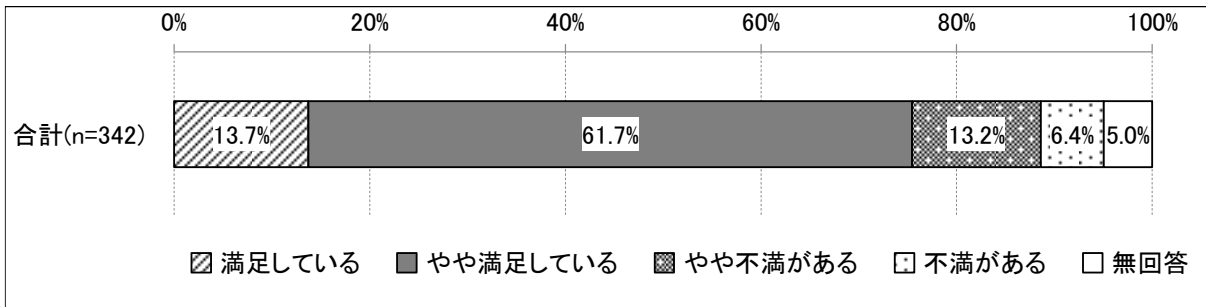


学年別でみると、1年生～6年生の学年すべてで「持たせていない」の割合が高くなっています。また、学年が上がるにつれ「持たせている」の割合が高くなる傾向があります。

区分	有効回答数(件)	持たせている	持たせていない	無回答
1年生	68	14.7%	83.8%	1.5%
2年生	68	20.6%	76.5%	2.9%
3年生	61	26.2%	73.8%	0.0%
4年生	47	44.7%	55.3%	0.0%
5年生	52	34.6%	65.4%	0.0%
6年生	45	42.2%	55.6%	2.2%

## 7. 地域における子育て環境や支援への満足度

「やや満足している」の割合が61.7%と最も高く、次いで「満足している」の割合が13.7%、「やや不満がある」の割合が13.2%となっています。



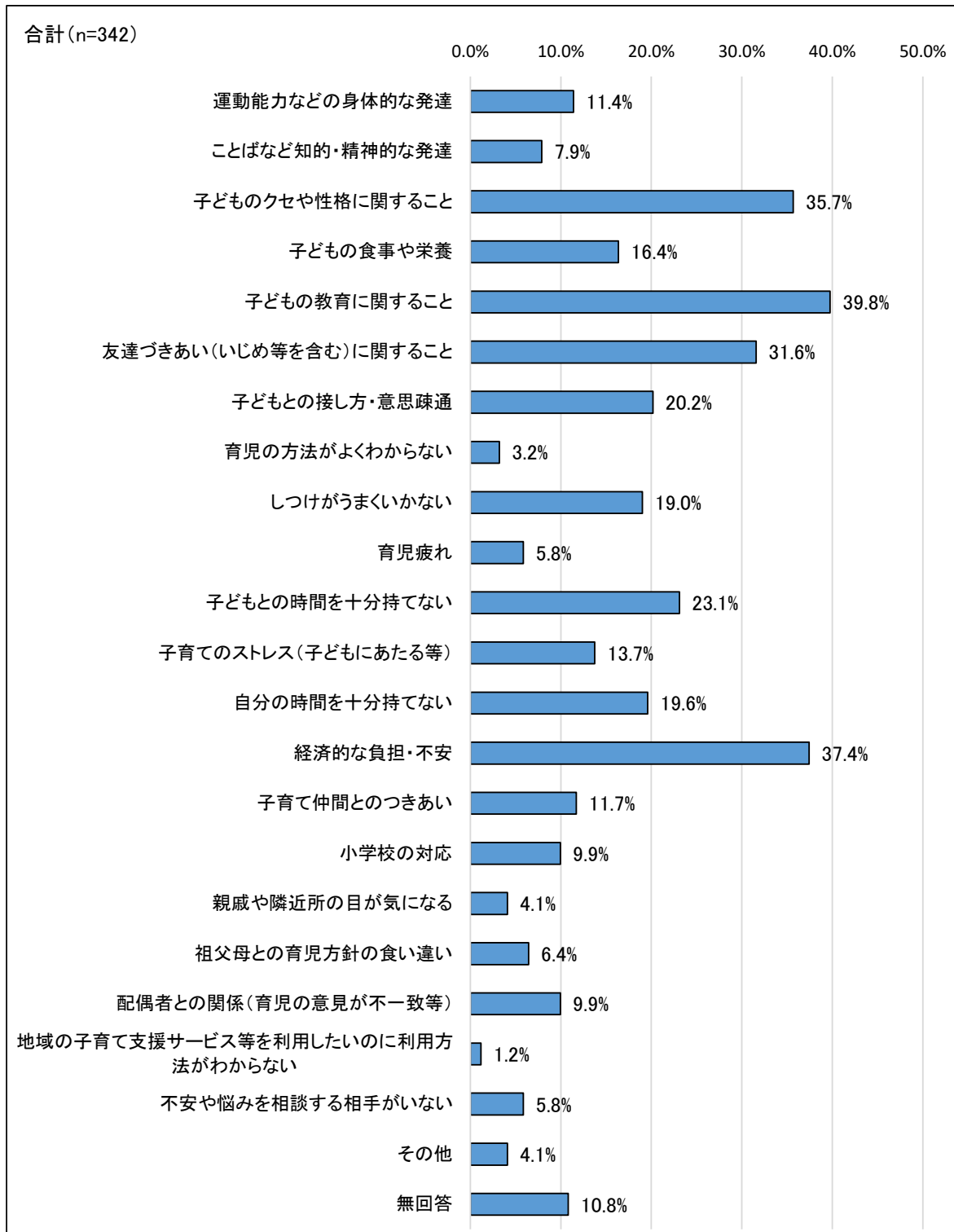
## 8. 不満の理由

【意見抜粋】

宛名のお子さんの学年	
1年生	仕事をフルタイムにしようとしても、竹原市内に仕事は少なく、市外にでも児童クラブが18時までとなると難しいので19時までみてもらえるとありがたい。
2年生	児童クラブの時間をのばしていただきたい。18時は早すぎると思います。
3年生	すべて預けられるところは働いていることが条件で、働いていないお母さんたちのための預ける場所はない。働けないのは色々な理由があると思うので、もっと預けやすい環境づくりをしてほしい。
3年生	子どもの交流の場として、地域子育て支援センターや児童館を利用させたいが、学校区外のため送迎が必要で、仕事をしていると活用できない。ファミリー・サポート・センターを利用すると経済的負担が大きい。
4年生	放課後に子どもたちの過ごせる場所がないこと。児童館、図書館がもし忠海地区にあれば、自転車で行くことができ、家庭以外で過ごせる場所ができて親としては安心です。
5年生	子どもが小学校の代休で平日休みになるのは月曜日なのだが、自分に仕事があり本人も友人と遊びたい時に、竹原の児童館は月曜日が休館ということで困る。
5年生	公園に子どもが少ない。公園に行くまでの道は車が多く危ない。子どもに対して大人が冷たい。
6年生	収入、手取りが少ないのに、母子手当、児童扶養手当が去年より止まってしまった。子ども手当が中学卒業で終わってしまうので、高卒までにしてほしい。
6年生	勤務時間後、お迎えに行く時間がギリギリのことが多いので、支援施設の開放時間を19時や20時などに延長してほしい。

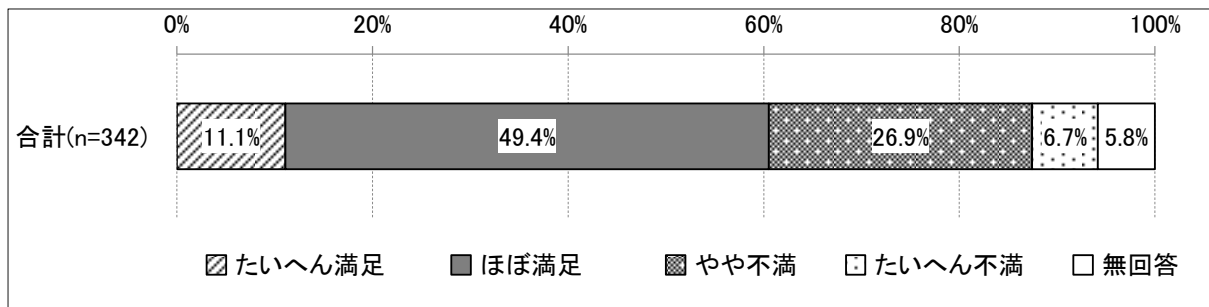
## 9. 子育ての悩み

「子どもの教育に関すること」の割合が39.8%と最も高く、次いで「経済的な負担・不安」の割合が37.4%、「子どものクセや性格に関すること」の割合が35.7%となっています。

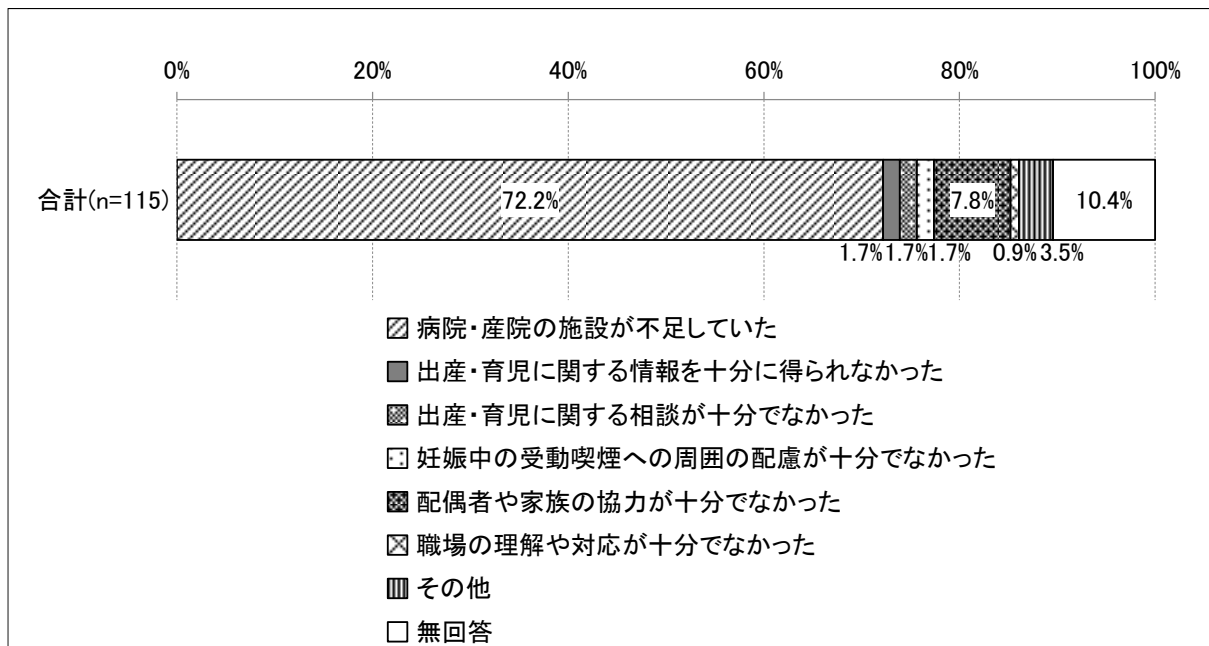


## 10. 子育ての環境や医療

妊娠中・出産時の状況について「ほぼ満足」の割合が49.4%と最も高く、次いで「やや不満」の割合が26.9%、「たいへん満足」の割合が11.1%となっています。

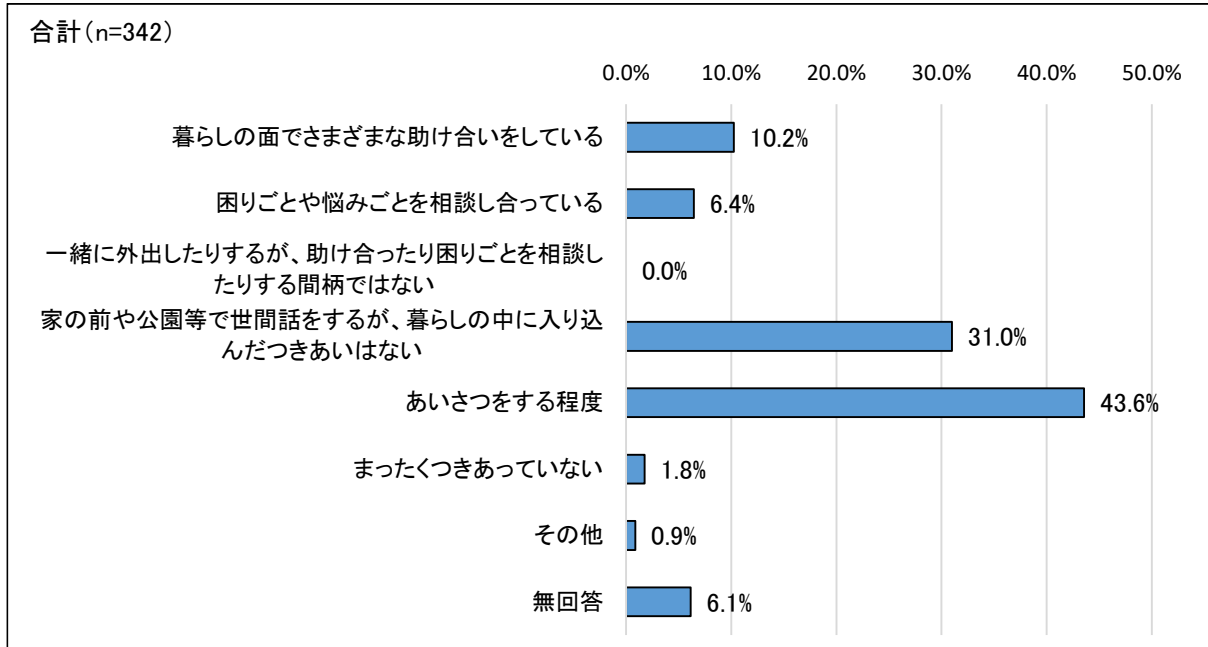


一方、不満の理由としては、「病院・産院の施設が不足していた」の割合が72.2%と最も高くなっています。



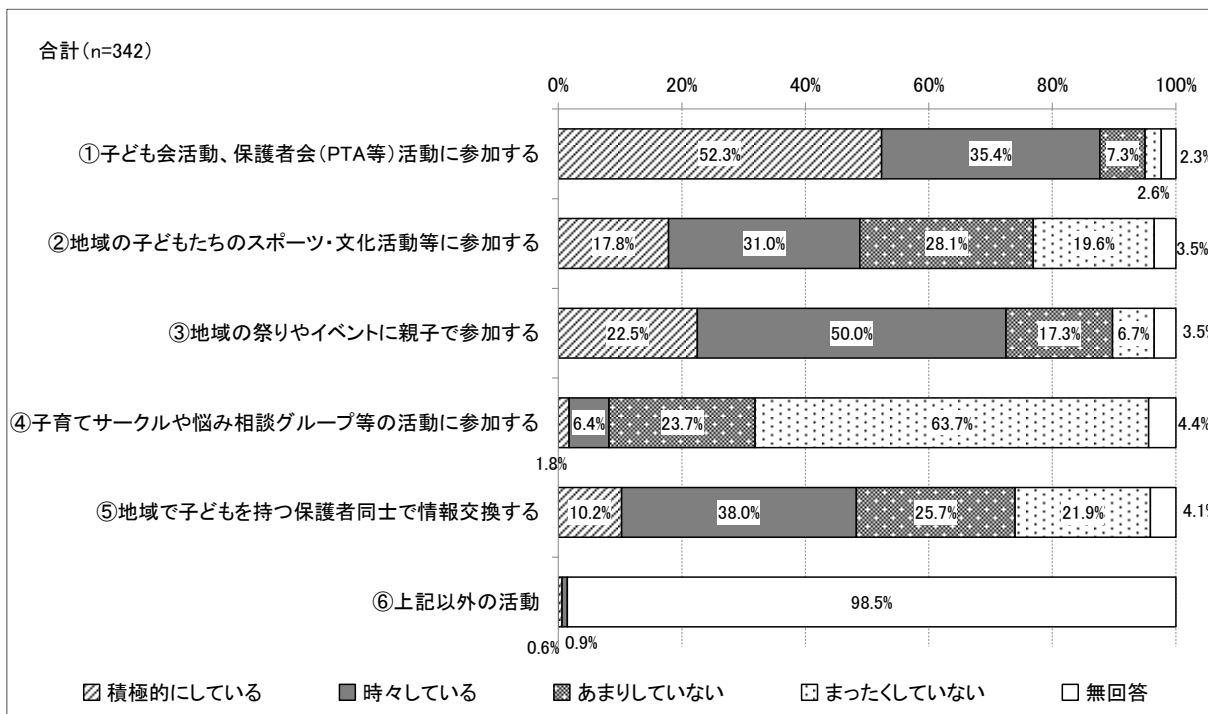
## 11. 家族の近所づきあい

「あいさつをする程度」の割合が43.6%と最も高く、次いで「家の前や公園等で世間話をするが、暮らしの中に入り込んだつきあいはない」の割合が31.0%、「暮らしの面でさまざまな助け合いをしている」の割合が10.2%となっています。



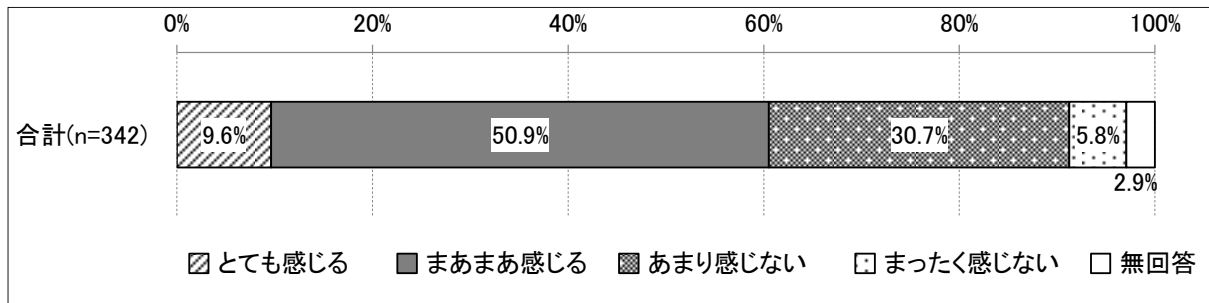
## 12. 地域の子どもたちとの交流や活動

「①子ども会活動、保護者会（PTA等）活動に参加する」で「積極的にしている」の割合が最も高く、5割となっています。



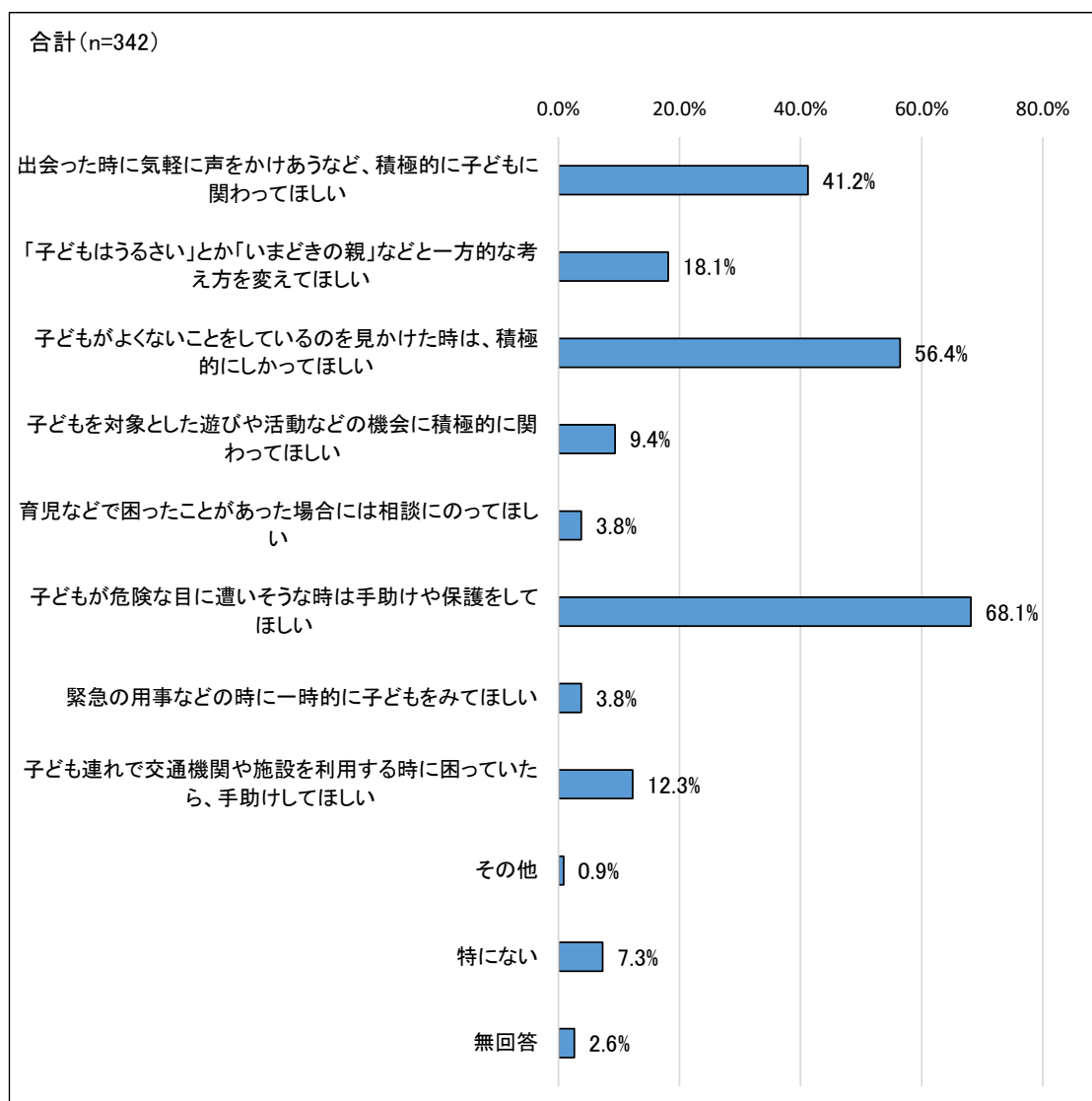
### 13. 地域の人々は子育てを支えてくれているか

「まあまあ感じる」の割合が50.9%と最も高く、次いで「あまり感じない」の割合が30.7%となっています。



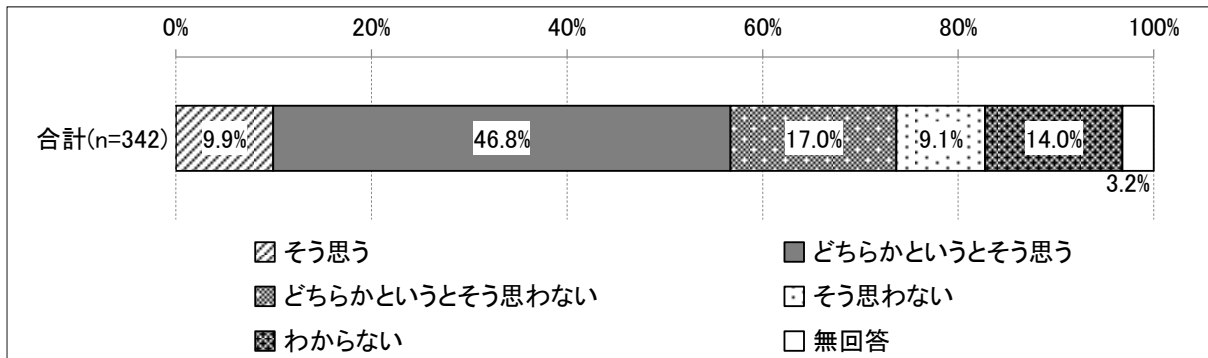
### 14. 子育てをするうえで地域に望むこと

「子どもが危険な目に遭いそうな時は手助けや保護をしてほしい」の割合が68.1%と最も高く、次いで「子どもがよくないことをしているのを見かけた時は、積極的にしかってほしい」の割合が56.4%、「出会った時に気軽に声をかけあうなど、積極的に子どもに関わってほしい」の割合が41.2%となっています。



### 15. 竹原市は子育てしやすいまちだと思うか

「どちらかというと思う」の割合が 46.8%と最も高く、次いで「どちらかというと思わない」の割合が 17.0%、「わからない」の割合が 14.0%となっています。



“そう思う”理由としては

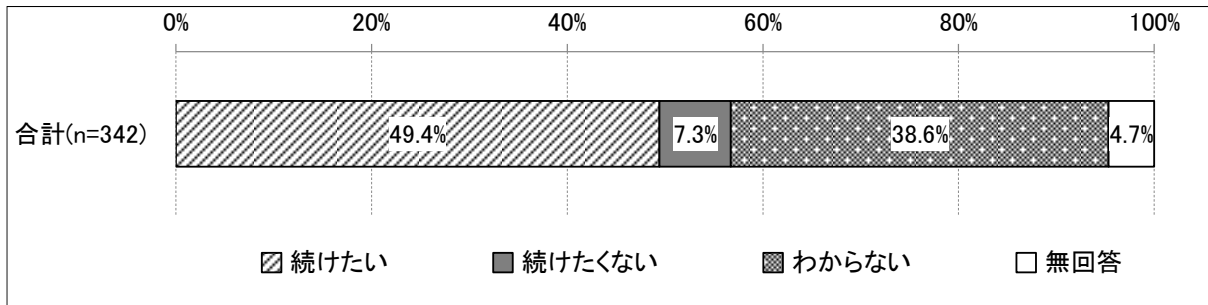
【意見抜粋】

宛名のお子さんの学年	問 38 子育てしやすいまちだと思いますか。	
1年生	そう思わない	子どもが遊べる施設、図書館等があまりない。図書館も以前と比較して子どもスペースが少なくなった。学童保育も全く働く親に考慮しているとは思えない。
1年生	どちらかというと思う	子育て支援はとても充実しています。夜間子どもが体調を崩した時にみてくれる病院がない。子ども、赤ちゃん用品を扱っているお店が少ない。
2年生	どちらかというと思わない	産婦人科がない。病院が少ない。夜間対応してくれる病院が竹原にはない。
2年生	どちらかというと思う	小規模のまちなので色々なことに目が届く。子どもの行動範囲、友達関係など。また、自然がいっぱいで子どもが遊ぶにはいい。海や山や川が近い。
3年生	そう思わない	サポート等の利用をすれば経済的負担が大きくなる。子どもが利用できる施設等は、学区外であれば送迎が必要。イベント等子どもが参加できるものは土曜日が多く、土日休みでない者は子どもに我慢させなければならず、精神的負担となる。
4年生	そう思う	保健センター、子育て支援など相談できるところがある。子どものサークルなどで親子で友達ができた。支援施設が充実しているのでとても助かりました。
5年生	どちらかというと思う	小学校の先生方が親切で丁寧である。下校時の途中までであるが、サポートの方の支援や、明るく声をかけてくださる方がいる。
6年生	どちらかというと思う	ほどよい田舎がいい。こじんまりとした雰囲気のある町だと思う。少し大きい町の子どもと比べ、穏やかで常識のある子どもが多いと思う。このことは継続して、よい子どもたちが増えてほしいと思う。



## 16. 竹原市で子育てや教育・保育を受けさせ続けたいか

「続けたい」の割合が49.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が38.6%となっています。



その理由は、

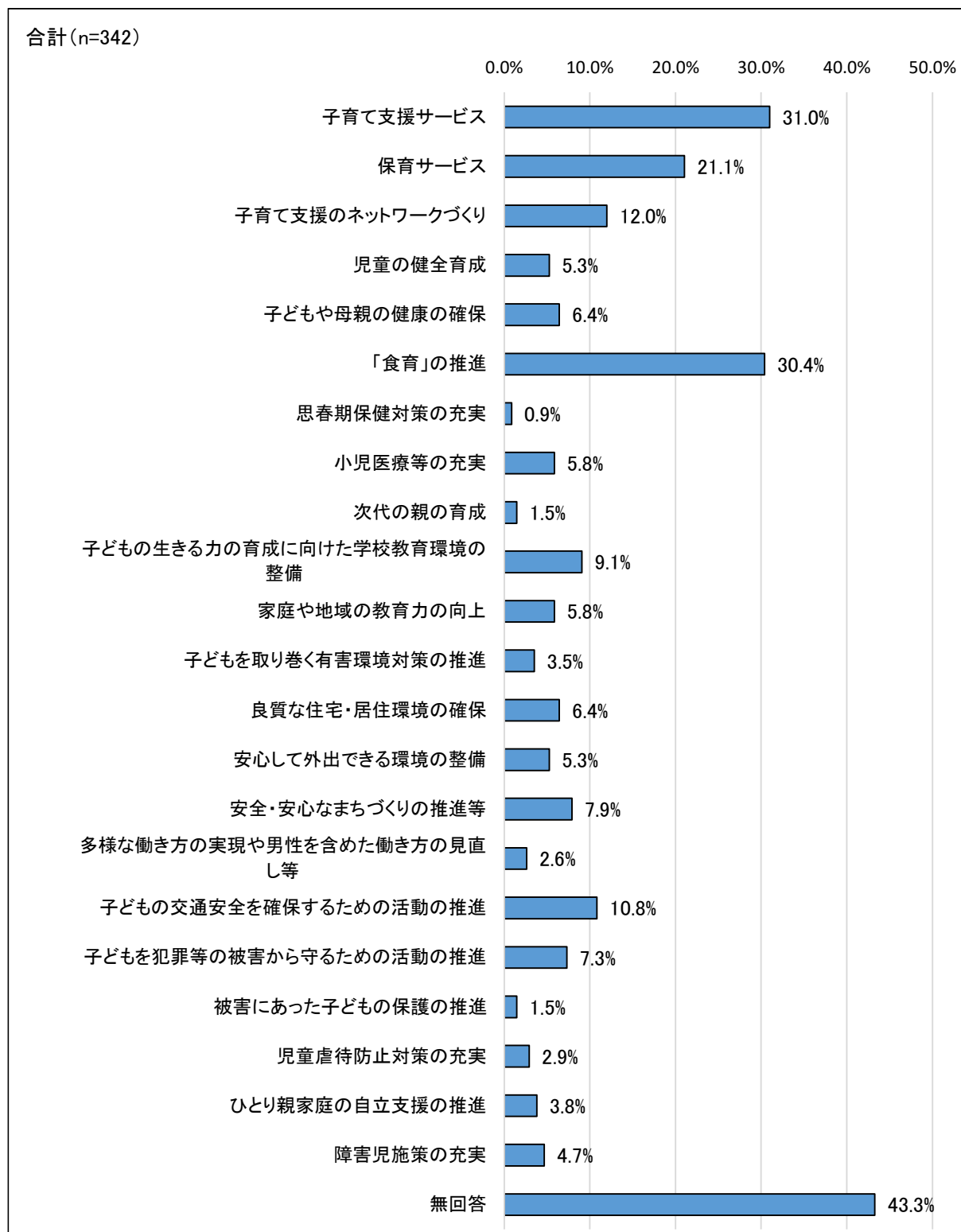
### 【意見抜粋】

宛名のお子さんの学年	問 39 竹原市で子育てや教育・保育を受けさせ続けたいですか。	
1年生	続けたい	地域からの協力があることを子どもにもわかってほしいし、それを次世代にも伝えていってほしいと思う。
1年生	わからない	子どもの希望による。教育は学校により学力の差があるみたい。これから子どもが少なくなるので、どう対応するかにもよります。学校を選べるようにしてほしい。
2年生	わからない	友人関係のこと、教育のことを考えると他市の方がすぐれていると思う。ただ地域の人顔がわかるため、そのあたりは安心。
2年生	続けたくない	将来の選択肢が限られてしまう。
3年生	続けたい	認定こども園があるので、預かりができており、働いているお母さん方にとってはありがたいと思います。
4年生	続けたい	竹原で子育てを続けたいと思うが、産婦人科があるのもっといいと思う。近くに産婦人科がないのは妊婦さんにとって不安だし、少子化の原因にもなると思う。
5年生	続けたい	私自身が生まれも育ちも竹原なので。でも、本人が大きくなって県外に行きたいといったら応援したい。
5年生	続けたい	竹原にしかない郷土を味わえる活動を小学校はしている。
6年生	わからない	テレビで子育てに対する色々なことを他の町や市の方がいいことをやっていたので、そちらの方がよかったと思うことが多々あった。竹原も財政のことがあると思いますが、他の市や町のいいところを取り入れて竹原ももっと子育てしやすくこの町に来たいと思える町にしてほしい。

## 17. 竹原市の子育て施策について

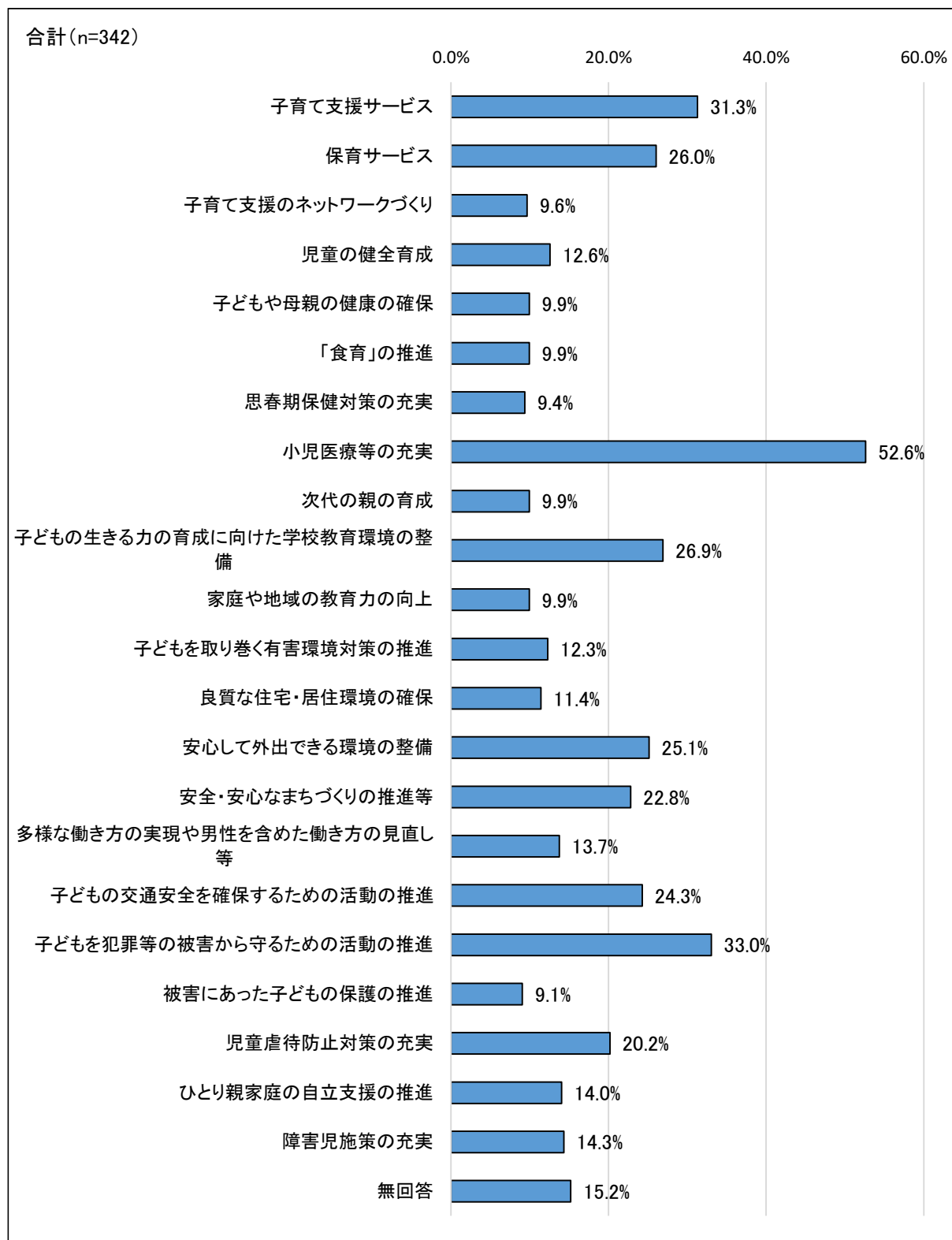
### ①よくなったと思う項目

「子育て支援サービス」の割合が31.0%と最も高く、次いで「食育」の推進の割合が30.4%、「保育サービス」の割合が21.1%となっています。



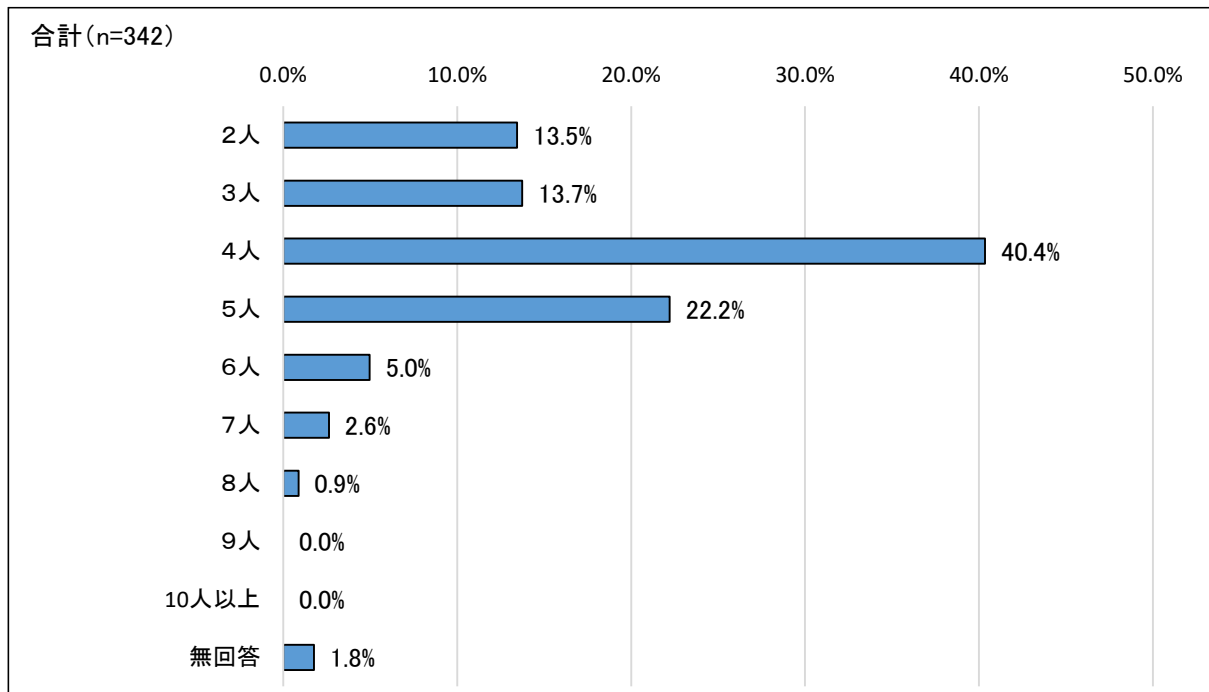
②今後も特に重要だと思う項目

「小児医療等の充実」の割合が52.6%と最も高く、次いで「子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進」の割合が33.0%、「子育て支援サービス」の割合が31.3%となっています。

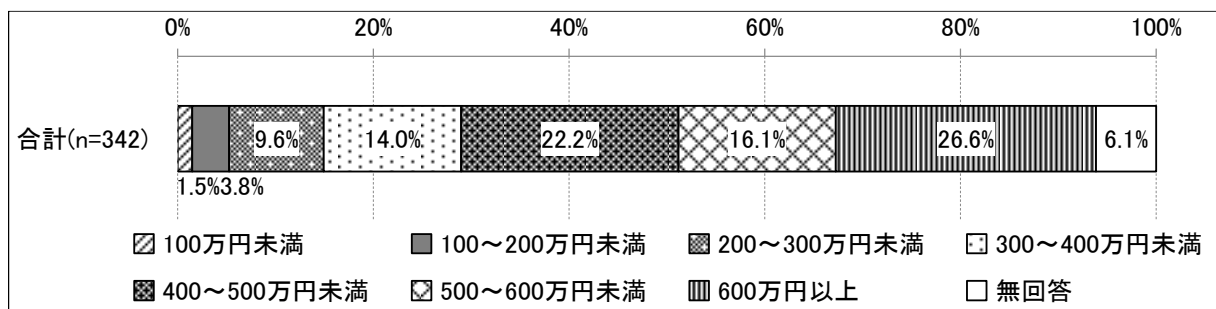


## 18. 世帯や経済状況

生計をともにしている方（世帯員）は、「4人」の割合が40.4%と最も高く、次いで「5人」の割合が22.2%、「3人」の割合が13.7%となっています。



収入は、「600万円以上」の割合が26.6%と最も高く、次いで「400～500万円未満」の割合が22.2%、「500～600万円未満」の割合が16.1%となっています。



## 19. 自由意見

### 【意見抜粋】

宛名のお子さんの学年	
1年生	長期休暇中に子どもが工作、実験、料理など体験できる機会がもっとあればいいなあと思います。近隣の町では、絵画や生け花、琴など地域の方が教えてくれる場があり、参加費も習い事ほど高くないようで、とてもいいなあと思います。ボール遊びができる公園があるといいです。
1年生	夜間子どもの急病をみってくれる病院がなく、遠くまで行かないといけないのがちょっと不満である。産婦人科が竹原にあってほしい。子育て支援住宅は家賃が高すぎると思う。
2年生	子育てしやすいとPRしている市もありますが実際は待機児童が多かったり困っている方も多いようです。子どもの少ない竹原市にとっては放課後児童クラブや保育時間延長など竹原市外で仕事する子育て世代にもやさしい子育て環境を考えていただけると、移住者の増加につながるのではないかと思います。
2年生	今ある市営住宅をもっと住みやすくしてほしい。新しく建てるのではなく。今ある市営住宅に空きがあるのはもったいない。なぜ空きがあるのか。住みにくいからです。風呂がついていない、水洗でないトイレ、今時ありません。エレベーターなんか必要ないです。児童クラブについて竹原市内に仕事がなく市外で就労し、定時で帰っても18時ギリギリです。少しでものばしてください。
2年生	この先、子どもたちが大きくなって、また竹原で生活したい、働きたいと思える竹原にしていきたいし、してほしい。
3年生	やはり産婦人科がないので、病院ができたらいいなと思います。子育て支援センターが充実しているので嬉しいです。親子で楽しく遊べるので、育児サークルなどはすごくいいと思います。これからも期待しています。皆が喜んでくれるような竹原市になったらいいなと思います。
3年生	現在、母親は就労していないため、学校から帰ると自宅で過ごしていますが、緊急時など祖父母に頼れない時にのみ利用できる放課後児童クラブの利用できる制度があるとありがたいです。

【意見抜粋】

宛名のお子さんの学年	
4年生	アパートなど家賃が高くて子育て世帯には支払がたいへん。もっと家賃が安くて新しい住宅ができると嬉しい。インフルエンザの予防接種費が高いので市で負担してほしい。
4年生	子育て支援には、働きやすさのため病児保育なども必要かもしれませんが、企業と協力して、子どもが病気の時には、親が仕事を休みやすい環境をつくる必要もあると思います。子どもはしんどい時は、やっぱり家族にそばにいてほしいと思っています。
4年生	綺麗な河川や遊具、公園があればいいなと思う。雨天時など屋内で遊べる施設がないので、検討してほしいです。
5年生	ひとり親家庭については児童手当をもっと引きのばしてほしい。家賃が結構割合をしめるので、住宅手当がでたら助かる。温暖化で夏はとても暑く、冬は寒いので、一家に一台エアコンを設置してもらいたい。とにかくにも、ひとり親は経済的に困っているので、手当的なものを充実してほしいです。
5年生	夜、暗すぎるので街灯がもっとほしい。イノシシやシカがでてくるので夜明るくしてほしい。土砂崩れで大きな岩などがあるので安全にしてほしい。支援も大事だが、安心安全を優先してほしい。
5年生	放課後、特に高学年の子ども同士が安全に遊べる居場所ができるといいなと思います。急な病気で誰にも預けるところがないので、仕事を休まざるをえない共働き夫婦です。病気でもみてもらえる、預けられる場所が増えたらいいなと思います。
6年生	最近取りざたされている発達障害が多くなっています。それを低学年の時からわかるよう、先生を多く置いて子どもの将来を明るくしてほしい。そんな訓練もできるように竹原全体の小学校でやってほしい。
6年生	障がいの人にどんなサポートなどあるかなど情報がほしかった。
6年生	公園の整備、お店の確保など充実してほしいです。

## 20. まとめ

【問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方】

「父母ともに」の割合が54.1%と最も高くなっているが、「主に母親」の割合も41.2%と高くなっている。

【問13-1 放課後児童クラブについて、どのように感じているか】

「ほぼ満足」の割合が60.6%と最も高く、次いで「たいへん満足」の割合が26.0%、「やや不満」の割合が10.6%となっている。

【問14-1 何年生まで放課後児童クラブを利用したいか】

「6年生」の割合が54.6%と最も高く、次いで「4年生」の割合が18.5%、「5年生」の割合が10.2%となっている。

【問15 土曜日、日曜日・祝日、長期の休暇期間中の「放課後児童クラブ」の利用希望】

「夏休み・冬休みなどの長期の休暇中に利用したい」の割合が42.7%と最も高く、次いで「いずれも必要ない」の割合が38.3%、「土曜日に利用したい」の割合が17.8%となっている。

【問24 お子さんに携帯電話、タブレットなどの携帯端末を持たせているか】

「持たせていない」の割合が70.2%、「持たせている」の割合が28.7%となっている。学年別でみると、学年が上がるにつれ「持たせている」の割合が高くなる傾向がある。

【問38 竹原市は子育てしやすいまちだと思うか】

「どちらかというと思う」の割合が46.8%と最も高く、「どちらかというと思わない」の割合が17.0%、「わからない」の割合が14.0%となっている。

世帯区分別で「思う」「どちらかというと思う」をあわせた“竹原市は子育てしやすいまちだと思う”でみると、世帯区分4（生活にゆとりがある）の割合が77.8%と最も高く、次いで世帯区分1（生活が厳しい）の割合が75.0%、世帯区分3（標準～生活にややゆとりがある）の割合が56.5%となっている。

【問39 竹原市で子育てや教育・保育を受けさせ続けたいか】

「続けたい」の割合が49.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が38.6%となっている。

「続けたい」でみると、世帯区分別では世帯区分4（生活にゆとりがある）の割合が72.2%と最も高く、次いで世帯区分1（生活が厳しい）の割合が60.7%、世帯区分2（生活がやや厳しい～標準）の割合が47.7%となっている。